



2023 年度 事業報告書

2023(令和5)年4月1日～2024(令和6)年3月31日



学校法人 聖マリアンナ医科大学

建 学 の 精 神

キリスト教的人類愛に根ざした「生命の尊厳」を基調とする
 医師としての使命感を自覚し、人類社会に奉仕し得る人間の育成、
 ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていく医師の養成

年 月 日	学 校 法 人 の 沿 革 (概 要)
1971 年 1 月 27 日	学校法人東洋医科大学設置認可
1971 年 4 月 1 日	東洋医科大学開学（入学定員80名）
1972 年 7 月 1 日	中央電子顕微鏡研究施設設置
1973 年 4 月 1 日	聖マリアンナ医科大学に改称（入学定員を100名に増員）
1973 年 6 月 11 日	中央実験動物飼育管理研究施設設置
1974 年 2 月 12 日	大学病院（本館）開院
1976 年 1 月 1 日	共通放射能基礎医学研究施設設置
1977 年 3 月 30 日	大学院医学研究科設置認可
1977 年 4 月 1 日	大学院医学研究科開学(入学定員60名)
1979 年 3 月 24 日	看護専門学校設置認可
1979 年 4 月 1 日	看護専門学校第1、2看護学科開校（入学定員40名）
1980 年 7 月 1 日	大学病院（別館）開院
同	救命救急センター開設（大学病院）
1980 年 10 月 14 日	視聴覚教育センター設置
1983 年 7 月 9 日	メディカル・フォトセンター設置
1986 年 4 月 1 日	看護専門学校第1看護学科（入学定員を80名に増員）
1987 年 5 月 25 日	横浜市西部病院開院
1988 年 3 月 31 日	看護専門学校第2看護学科課程廃止
1988 年 7 月 6 日	MR棟開設
1988 年 12 月 26 日	大学院附属研究施設設置
1990 年 10 月 4 日	附属研究所（難病治療研究センター）開設
1993 年 11 月 26 日	大学病院特定機能病院承認
1994 年 5 月 16 日	夜間急患センター開設（大学病院）
1995 年 9 月 1 日	看護専門学校の看護専門課程より医療専門課程に名称変更
1996 年 10 月 5 日	特別教育施設「聖堂」献堂
1997 年 4 月 1 日	医学総合情報センター（図書館、視聴覚センター、メディカル・フォトセンター）の3施設を統合開設
1997 年 11 月 1 日	大学病院臓器別外来診療体制へ移行
1999 年 4 月 1 日	6講座の統廃合(大講座制に改組)
2001 年 4 月 1 日	医学教育改革により、教育改革推進室を新設。学務部と医学総合情報センターの一部を整理統合し、教学部に改組
2001 年 8 月 1 日	医学総合情報センターを医学情報センターに名称変更
2003 年 4 月 1 日	講座及び学科目の再編成、大学組織改革及び事務組織の再編成
同	臨床研修センター設置（大学病院）
2003 年 6 月 25 日	昭和薬科大学と教育・研究の交流に関する協定を締結
2004 年 11 月 1 日	知財事業推進センター開設
2005 年 4 月 1 日	大学院医学研究科の4専攻を医科学系専攻に統合し名称変更
同	大学基準協会認証評価認定
2006 年 2 月 1 日	川崎市から指定管理者として指定を受け川崎市立多摩病院開院
2007 年 1 月 22 日	日本医療機能評価機構認定
2008 年 2 月 6 日	機械棟（エネルギーセンター）開棟
2008 年 4 月 1 日	教育棟開棟
2008 年 6 月 16 日	東横病院新規開院
2008 年 11 月 1 日	附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター開設
2009 年 2 月 1 日	キリスト教文化センター開設
2009 年 3 月 2 日	附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック開院
2009 年 4 月 1 日	医学部の入学定員を110名に増員し収容定員を660名に改変
2010 年 4 月 1 日	医学部の入学定員を115名に増員し収容定員を690名に改変

年 月 日	学 校 法 人 の 沿 革 (概 要)
2011 年 4 月 1 日	総合教育センター開設
2011 年 12 月 16 日	高神大学医学部（韓国 釜山）と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2012 年 4 月 2 日	マリアンナさくら保育園開園
2013 年 7 月 3 日	明治大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2013 年 11 月 13 日	学校法人東京純心女子学園との相互連携に関する合意文書を締結
2014 年 4 月 22 日	上智大学と大学間交流に関する包括協定を締結
2015 年 1 月 26 日	江原国立大学医学部（大韓民国）との大学間交流に関する協定を締結
2015 年 4 月 1 日	男女共同参画キャリア支援センター開設
2015 年 4 月 1 日	臨床研究データセンター開設
2015 年 11 月 9 日	同済大学医学院（中国 上海市）と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2016 年 4 月 1 日	情報部門及びIT戦略推進室設置
2016 年 7 月 1 日	田園調布学園大学及び川崎市宮前区との連携・協力に関する協定を締結
2016 年 10 月 6 日	ハワイ大学医学部（アメリカ ハワイ州）との医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2017 年 4 月 1 日	感染症センター開設
2018 年 3 月 23 日	中央大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2018 年 4 月 1 日	国際交流センター開設
2018 年 4 月 1 日	メディカルシミュレーションセンター開設
2019 年 3 月 11 日	国立成功大学（台湾）と大学間交流に関する包括協定等の締結
2019 年 4 月 1 日	ソウル大学校附属盆唐病院と聖マリアンナ医科大学病院との国際交流協定を締結
2019 年 6 月 12 日	ハノイ医科大学（ベトナム）との学生交流プログラムに関する協定を締結
2019 年 8 月 1 日	デジタルヘルス共創センター開設
2019 年 8 月 1 日	大学医師会設立
2019 年 10 月 31 日	コンケン大学医学部（タイ）との学生交流プログラムに関する協定を締結
2019 年 8 月 1 日	看護師特定行為研修センター開設
2020 年 4 月 1 日	リハビリテーション医学講座、緩和医療学講座開設
2020 年 6 月 4 日	朝鮮大学医学部（韓国）との学術交流協定を締結
2020 年 7 月 30 日	NITTE大学（インド）との学術交流協定を締結
2020 年 8 月 1 日	教学IRセンター開設
2020 年 12 月 9 日	ピッツバーグ大学との学術交流協定を締結
2021 年 4 月 1 日	「法務・監査室」を「内部監査室」と改称
2021 年 6 月 10 日	神奈川県立保健福祉大学と連携協定を締結
2021 年 10 月 14 日	本学創立50周年
2022 年 2 月 28 日	「学校法人聖マリアンナ医科大学 ガバナンス・コード」制定
2022 年 4 月 1 日	教学部「入試課」を設置
2022 年 4 月 1 日	「総合企画室」を「総合企画部」と改称し、「理事長室」を新設（「企画調査課」は既設）
2022 年 4 月 1 日	「主任教授」制を導入
2022 年 4 月 1 日	「男女共同参画キャリア支援センター」を「ダイバーシティ・キャリア支援センター」に改称
2022 年 6 月 1 日	日本医学教育評価機構(JACME)より「医学教育分野別評価基準」適合認定
2022 年 11 月 26 日	大学病院入院棟竣工祝福式・内覧会を举行
2023 年 1 月 1 日	大学病院入院棟開院
2023 年 5 月 2 日	ラオス保健科学大学との学生や教員の交流、さらには研究協力を目指す合意書を締結
2024 年 3 月 31 日	東横病院閉院

目 次

I. 法人の概要

1. 法人の概況	1
2. 設置する学校・学部・学科	5
3. 収益事業	5
4. 役員(理事・監事)および評議員関係	5
5. 大学の主な役職者	6
6. 教職員数	7
7. 法人組織図	8

II. 事業の概要

1. 教育・研究・診療活動の状況	9
1—1 大学病院	11
1—2 東横病院	11
1—3 西部病院	12
1—4 多摩病院	12
1—5 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック	12
2. 学生在籍者数	13
3. 入学試験状況	14
4. 国家試験合格状況	16
5. 博士(医学)の学位授与状況	16
6. 補助金交付状況	17
7. 主な施設・設備の更新等	18

III. 財務の概要

1. 財務の概況	19
2. 学校法人会計	20
3. 収益事業会計(多摩病院)	28
4. 附属病院等の状況	29

I. 法人の概要

1. 法人の概況

(1) 新たな 50 年に向けて

2021 年 10 月に創立 50 周年を迎えた本学は、更なる飛躍を誓い、新たな 50 年に向けたスタートを切りました。

創立 50 周年記念事業として計画された菅生キャンパスリニューアルは順調に進捗しており、計画のステップ 2 として、ICU 等重症病床を増床し、最新の医療機器や設備を導入して 2023 年 1 月に開院した新たな入院棟は、稼働から 1 年が経過し、地域の高度急性期医療を支えています。

現在、ステップ 3 として、病院別館を新外来棟へ改修する工事と、その新外来棟と新入院棟をつなぐエントランス棟の建設工事が 2024 年秋の竣工、2025 年 1 月の開院を予定し進められています。その後、ステップ 4 として病院本館の解体工事と跡地の整備工事を進め、2026 年末にグランドオープンする予定です。

一方で、本学の開学以来、教育・研究・診療を支え、多くの患者さんの治療にあたってきた東横病院は、本学の厳しい財務状況を鑑み、2024 年 3 月末をもちまして閉院する運びとなりました。

(2) 医学部、大学院および看護教育

1) 医学部

新設した自己点検評価室を中心とする全学的な体制のもと、大学基準協会による大学認証評価を 2023 年 9 月に受審し、翌 2024 年 3 月に同協会の大学基準に適合していると認定されました(認定期間：2024 年 4 月 1 日～2031 年 3 月 31 日)。

入学者選抜の広報活動として、例年開催しているオープンキャンパスを聖医祭と合同開催し、2 日間計 494 組 919 名の来場がありました。加えて、LINE 公式アカウントを開設し、受験生に入試情報を積極的に発信した結果、令和 6 (2024) 年度入学者選抜の受験者数は一般選抜 (前期)・一般選抜 (後期) を併せると過去最高の志願者数となりました。

また、令和 6 (2024) 年度一般選抜より試験会場を従来の五反田 TOC からパシフィコ横浜ノースに変更し、運用体制を刷新しました。

医師国家試験対策については、グループ学習を推奨し、学年担当委員の指導による学習意欲向上が実を結び、第 118 回医師国家試験において新卒合格率 98.1%と過去最高に並ぶ結果となりました。さらに第 6 学年コース別講義を廃止し、国試対策に抜本的な改革を講じ、2024 年 1 月より 1 時間 20 問の試験を週末に実施し、当日中に試験の解説講義を行う国試対策プログラムを導入しました。

講座の再編に関しては、新病院開設とともに PICU の体制強化を図ることを目的として、2024 年 4 月付で心臓血管外科学講座に「小児心臓血管外科分野」を、小児科学講座に「小児集中治療分野」をそれぞれ新たに設置することを機関決定しました。

国際交流の分野においては、ラオス保健科学大学との間で学生や教員の交流、さらには研究協力を目指す合意書の締結を行いました。

2) 大学院

新たな専攻分野として「周産期発生病態解明学」を設置しました。

また、大学院学位記授与式では優秀論文者 3 名及び優秀指導者 3 名を表彰しました。

3) 看護専門学校

2023 年度は、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に従い、1 年生・2 年生は新カリキュラム単位 103 単位 (2,985 時間)、3 年生は旧カリキュラム 100 単位 (3,030 時間) を履修しています。

また、特別教育活動として入学式、継灯式、卒業式、創立者追悼ミサ、クリスマスの集い、防災訓練、新型コロナウイルス感染症蔓延以降初めて法人関連 4 病院で実施したキャンドルサービス等があります。さらに、学校祭を含む学生会行事・医療安全教育、国家試験対策等を実施し、3 年間の総授業時間は 3,400 時間弱になります。

2023 年 5 月に感染症法において新型コロナウイルス感染症が 5 類となり、少しずつできることを拡大しました。感染予防対策を徹底しながらも対面授業を基本とし、状況によりオンライン授業を併用し、すべての講義を滞りなく実施することができました。臨地実習においては感染状況により実習病棟の変更や実習内容の調整を行い、すべての履修を修了しています。特別教育活動(行事)については感染予防徹底しながらほとんどのものを実施することができました。卒業式は 2019 年以来初めて在校生も参加し、執り行うことができました。

国家試験については、全国合格率 87.8%と低下し、本校も 74 名受験し 68 名合格(合格率 91.9%)という結果でした。コロナ禍で登校すること自体が難しい学生がおり 1 年生、2 年生合わせて 4 名が休学し、今年度をもって退学となっています。また体調不良や進路への迷いから長期間休んでしまった学生が 3 名おり、その後退学となっています。進路変更により 2 名が退学し、1 年生は 91 名中 7 名、2 年生は 75 名中 2 名が退学という結果になっています。学生生活をサポートする担当の配置や電子媒体を使った目安箱の設置等を行い、改善に取り組みましたが、適応が難しい学生が増えているため、合理的配慮も含めさらなる対策が必要と考えます。

現状における最大の課題は入学志願者が大幅に減少(昨年比 70.4%)していることです。そのため本校の入学志願者増加対策において抜本的改革と合わせて広報活動を充実させることが必要と言えます。

学校評価については、自己点検自己評価表を見直し、さらにこれまでの学校関係者評価会議でのご意見をもとに分析方法の再吟味を行いました。それを踏まえ、第 6 回学校関係者評価委員会を開催することができました。

次年度に向けて、入学志願者増加と学力格差の是正、国家試験合格率 100%を目指していきます。

(3) 附属病院等の概況

1) 大学病院

2023 年 8 月より新たな ER 体制を開始し、救急車の年間受入台数は前年比 38%増加しており、地域中核病院として急性期医療を提供しています。

複数の診療科医師や多職種が連携して診療にあたる診療連携部門には、こどものこころセンター、神経内分泌腫瘍センター、細胞治療センターを新設し、患者さん・時代・社会から必要とされる医療を提供できるように努めております。

2023 年 4 月より病院長直下組織として継続的に病院の質改善に取り組む Total Quality Management 室を設置しました。また、病院公式のアプリとして、PHR (Personal Health Record) という医療情報を自ら管理できる機能を有した「マリアンナアプリ」をリリースしました。

今後、リニューアル事業では 2025 年 1 月に新外来棟・エントランス棟をオープンし、大学病院本館取壊し工事並びに駐車場及びロータリー整備工事などを経て、2026 年 12 月にグラウンドオープンを予定しております。

2) 東横病院

聖マリアンナ医科大学東横病院は 1941 年に開設して以来、「生命の尊厳とキリスト教の愛の精神を重んじ、病める人を癒す、愛ある医療の提供」を理念に掲げ、地域医療に長く貢献してきました。病院運営に関して様々な収支改善策を試みたものの、財務的には赤字が増え続ける状況にあり、今後、理想の医療を支えるのが困難な見通しとなったことから、2024 年 3 月末日をもって閉院し、当院の機能を本学大学病院及び多摩病院に集約することになりました。

- ・ 2023 年 4 月 18 日(火) 病院機能変更検討キックオフ 東横病院再整備推進会議にて急性期（脳神経脳卒中センター）、回復期リハビリテーション病棟への機能変更検討。
- ・ 2023 年 8 月 2 日(水)臨時常任役員会 様々な収支改善策を試みたものの、財務的には赤字が増え続ける状況にあり、今後、理想の医療を支えるのが困難な見通しとなったことから、2024 年 3 月末日をもって閉院することを法人決定。
- ・ 2023 年 10 月 23 日(月) 川崎地域医療構想調整会議にて閉院承認。

3) 西部病院

前年度に引き続き「選ばれる病院」となることを目標とし、具体的には「地域連携の強化」と「救急応需」のための施策を実践しました。

「地域連携の強化」については、新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた地域連携セミナーを再開し、旭区、瀬谷区、泉区、大和市の医療機関を各々対象として計 4 回開催しました。診療部長による講演と意見交換会によって、改めて地域のクリニックなどの先生方と顔の見えるつながりを構築することができました。それは連携登録医の増加につながり、1 年間で 43 件の申し込みがあり合計 483 施設となりました。今後は、先生方に当院の連携登録医としてのメリットを感じていただくための方策を実践していく必要があると考えております。

また、地域住民への情報発信を目的として市民公開講座はWEB版を 9 本、対面開催（大和市）を 1 回行いました。大和市文化創造拠点シリウスやまと芸術文化ホールにおいて、「脳のおはなし」と題して開催した公開講座には 167 名の方にご来場いただきました。

次に、「救急応需」については、2023 年 3 月に改修工事を行った救命救急センター外来を有効に活用するため、また救急患者の受け入れがよりスムーズになるよう、救命救急センター医師に加え状況に応じて他の診療科が患者応需にあたる体制を構築しました。

翌 2024 年度の日本医療機能評価機構による病院機能評価受審（更新審査）に向けて、準備組織を設置するとともに、2023 年 10 月にキックオフのための院内説明会を開催しました。

2024 年 1 月には、入院診療の専門性を高めるとともに、チーム医療の推進、医療の質向上などを目的として、各病棟における診療科配置を一部再編しました。

引き続き横浜市西部地域の中核病院として、地域の皆様から信頼され、安心・安全な医療を提供すべく努めてまいります。

4) 多摩病院

2023 年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の対応を行い、専用病床に小児病床 1 床を含み、平常時 34 から 35 床、特別警戒時 36 床から 37 床で運用しました。新型インフルエンザ等感染症が 2 類から 5 類へ変更になったことをうけ、10 月から 16 床の運用に変更しました。

また、聖マリアンナ医科大学の附属病院としての機能を有する当院は、教育、研修施設としての役割を果たすことを目的に、内科診療と救急診療の 2 つを柱とする総合診療専門医研修プログラムと内科専門医研修プログラムがあり、医科大学の教員としても活躍する経験豊富な指導医から、救急医療ならびに総合的な内科診療等を中心に、多岐にわたる疾患について十分な指導を提供しております。

さらに、両研修に加え臨床研究を経験し、総合診療領域での専門医と博士号取得を目指す意欲的な総合診療アカデミックコースも設定され、2019 年度より本コースを開設し、これまでに 6 名が専門研修と並行して博士課程に在籍、4 名が専門医と博士号を取得しました。

これら初期研修医および内科医、総合診療医を目指す後期研修医の教育を行なうに当たり、説明会や見学の受入れ、ホームページの研修医サイトを活用し、研修内容等を発信しております。

ホームページサイトは、多摩病院サイトに加え、看護部サイト、産婦人科サイトにて病院からのメッセージを患者さんや地域の医療機関へ発信しております。また、今年度は日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審しました。病院機能評価については、PDCA サイクルを回し院内機能及び質の向上を目的に院内サーベイヤーによる院内機能評価を継続的に行なっております。

5) プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

2023 年度は、前年度から非常勤医師 2 名の退職により患者数が減少しました。

ただし、化学療法等治療を要し単価の高い患者数は減らさずに、前年度を上回る稼働額（前年度比 7,771 万円増）となりました。次年度は常勤医師 1 名の退職、それに伴う施設基準の見直しによる保険点数の減、12 月からの施設賃借料の値上げなど、収支が大変厳しくなることが予想されます。固定費の抑制は必至で、今後はさらに業務改善を試み支出の抑制にも努めるとともに、アピアランスケアとして医療用アートメイクなどにも新たに取り組んでいきます。

(4) 被災地支援活動

本学は、東日本大震災、関東・東北豪雨、熊本地震、新型コロナウイルス感染症拡大事案など、過去に発生した大規模自然災害やパンデミックにおいて災害派遣医療チーム（DMAT）や医療救護班を積極的に派遣してきましたが、2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震においても厚生労働省からの派遣要請に応じた DMAT 派遣、日本小児科学会からの派遣要請に応じた災害時小児周産期リエゾンの派遣、日本看護協会からの要請に応じた災害支援ナースの派遣を行いました。DMAT 派遣については、法人内 3 病院からの派遣を行い、被災地の医療を支援しました。今後こうした活動の経験を活かし、有事の際には迅速かつ効果的な医療支援を行なってまいります。

2. 設置する学校・学部・学科

聖マリアンナ医科大学 医学部 医学科

開学年月日 1971 年 4 月 1 日

所 在 地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 大学院 医学研究科

開学年月日 1977 年 4 月 1 日

所 在 地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 看護専門学校 看護学科 医療専門課程

開校年月日 1979 年 4 月 1 日

所 在 地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

3. 収益事業（2013 年 3 月 29 日付寄附行為変更認可によるもの）

川崎市立多摩病院の管理運営

指定管理者指定日 2015 年 6 月 24 日

所 在 地 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

4. 役員(理事・監事)および評議員関係

(1) 役員(理事 11 名・監事 2 名)構成

理事・監事	氏 名	任 期
理 事 長	明 石 勝 也	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
学 長	北 川 博 昭	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
常 勤 理 事	加 藤 智 啓	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
常 勤 理 事	大 坪 毅 人	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
常 勤 理 事	明 石 嘉 浩	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
常 勤 理 事	川 瀬 弘 一	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
常 勤 理 事	近 藤 浩 志	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
常 勤 理 事	鈴 木 宣 男	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
常 勤 理 事	山 本 真 士	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
非 常 勤 理 事	永 田 良 一	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
非 常 勤 理 事	菊 岡 正 和	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
監 事	福 嶋 弘 榮	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
監 事	清 水 至	2023 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

(2) 常勤理事構成

理 事 長 明 石 勝 也 他常勤理事 8 名 (2024 年 3 月 31 日現在)

(3) 評議員構成

評 議 員 明 石 勝 也 他評議員 28 名

(27 名：任期：2023 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

(1 名：任期：2023 年 8 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

(4) 顧問

顧問 6名 (任期：2023年4月1日～2026年3月31日)

(5) 理事会・評議員会・常任役員会の開催状況

理事会開催日

第一回	2023年4月1日
第二回	2023年5月29日
第三回	2023年7月31日
第四回	2023年9月25日
第五回	2024年3月25日

評議員会開催日

第一回	2023年5月29日
第二回	2023年9月25日
第三回	2024年3月25日

常任役員会開催日

2023年4月24日	2023年9月25日	2024年1月29日
2023年5月29日	2023年10月30日	2024年2月21日
2023年6月26日	2023年11月27日	2024年2月26日
2023年7月31日	2023年11月29日	2024年3月19日
2023年8月2日	2023年12月25日	2024年3月25日

5. 大学の主な役職者

役 職	氏 名	所 属
学 長	北 川 博 昭	
医 学 部 長	加 藤 智 啓	生化学 主任教授
研 究 科 長	遊 道 和 雄	難治性疾患病態制御学 大学院教授
大 学 病 院 長	大 坪 毅 人	消化器・一般外科学 主任教授
東 横 病 院 長	古 畑 智 久	消化器・一般外科学 教授
西 部 病 院 長	原 口 直 樹	整形外科 教授
多 摩 病 院 長	長 島 悟 郎	脳神経外科学 教授
ブレスト&イメージング 先端医療センター 附属クリニック院長	福 田 護	乳腺・内分泌外科 特任教授

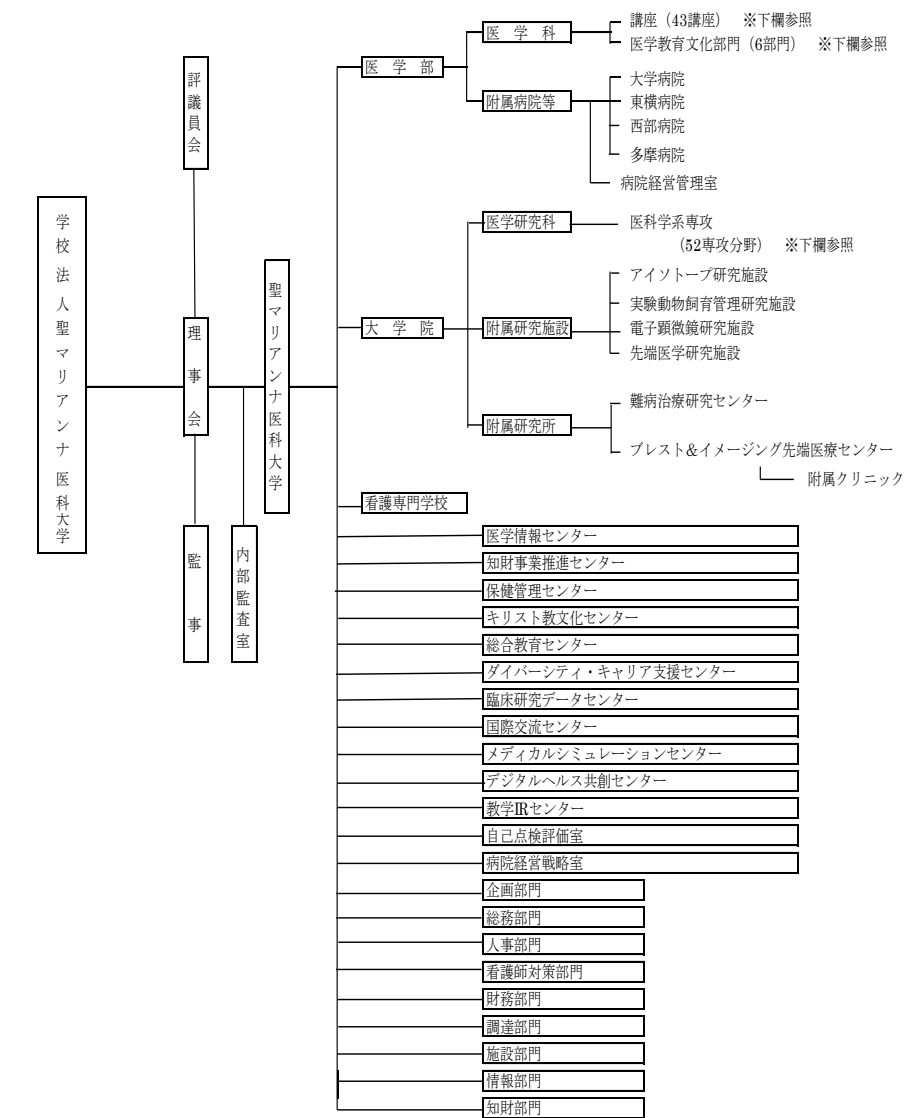
6. 教職員数（2024 年 3 月 1 日現在）

区 分		医学部	大学病院	東横病院	西部病院	多摩病院	ブレスト& イメージング センター附属 クリニック	看護専門 学校	大学院	大学院 附属研究 施設・附 属研究所	合 計
教員	学長	1									1
	教授※1	136	(96)	(6)	(19)	(7)			6		142
	准教授	86	(49)	(3)	(10)	(10)	(1)		2	5	93
	講師	117	(63)	(3)	(10)	(14)	(1)		1	5	123
	助教	677	(357)	(16)	(82)	(79)	(1)			6	683
	小計（ 1 ）	1,017	(565)	(28)	(121)	(110)	(3)		9	16	1,042
職員	その他医師		57		7	7	1				72
	看護師	10	1,242	80	522	427	10				2,291
	薬剤師		83	6	30	22	1				142
	臨床検査技師		108	19	29	25	5				186
	放射線技師		77	11	28	21	5				142
	OT・PT・ST		49	11	22	18					100
	医・診療技術員		80	4	30	26					141
	栄養士等		33	2	11	5					50
	事務員	206	163	26	80	67	8	3		1	554
	研究技術員	37								11	48
	教員							23			23
	その他	8	60		10	10					88
	小計（ 2 ）	261	1,952	159	769	628	30	26		12	3,837
合計（ 1 ）＋（ 2 ）		1,278	1,952	159	769	628	30	26	9	28	4,879
その他（研修医）			83		11	22					116
総 計		1,278	2,035	159	780	650	30	26	9	28	4,995

看 護 師	看護師、保健師、助産師、准看護師、診療看護師
O T ・ P T ・ S T	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
医 ・ 診 療 技 術 員	臨床工学技士、視能訓練士、ソーシャルワーカー、臨床心理士、救急救命士、歯科衛生士
栄 養 士 等	管理栄養士、栄養士
事 務 員	事務、クランク、秘書、司書、メディカルコーディネーター
そ の 他	看護助手、保育士、調理員、電話交換手、運転手、工務技術員、技能員、技術員

※1 教授＝特任教授を含む

7. 学校法人聖マリアンナ医科大学組織図



医学科講座43				医学教育文化部門6		医学研究科専攻分野53			
解剖学	総合診療内科学	放射線診断・IVR学	産婦人科学	人文・社会科学	生体構造学	生体統合制御学	疾患プラットフォーム・分子病態治療学	臨床微生物・感染制御学	
生理学	呼吸器内科学	放射線治療学	眼科学	語学系	臨床薬理学	病理病態学	再生医学・免疫病態医学	健康・環境制御医学	
生化学	循環器内科学	皮膚科学	耳鼻咽喉科学	医学情報学	法医学	難治性疾患病態制御学	総合診療内科学	呼吸器内科学	
微生物学	消化器内科学	腎泌尿器外科学	麻酔学	医学教育研究	循環器内科学	消化器内科学	腎臓・高血圧内科学	代謝・内分泌内科学	
薬理学	腎臓・高血圧内科学	消化器・一般外科学	形成外科学	医療倫理学	脳神経内科学	血液・腫瘍内科学	リウマチ・膠原病・アレルギー内科学	小児科学	
免疫学・病害動物学	代謝・内分泌内科学	心臓血管外科学	救急医学	行動科学	神経精神科学	放射線診断・IVR学	放射線治療学	皮膚科学	
病理学	脳神経内科学	呼吸器外科学	臨床腫瘍学		腎泌尿器外科学	消化器・一般外科学	心臓血管外科学	呼吸器外科学	
予防医学	血液・腫瘍内科学	小児外科学	リハビリテーション医学		小児外科学	乳腺・内分泌外科学	脳神経外科学	整形外科学	
法医学	リウマチ・膠原病・アレルギー内科学	乳腺・内分泌外科学	感染症学		産婦人科学	眼科学	耳鼻咽喉科学	麻酔学	
スポーツ医学	小児科学	脳神経外科学	緩和医療学		形成外科学	救急医学	スポーツ医学	臨床検査医学	
臨床検査医学・遺伝解析学	神経精神科学	整形外科学			応用分子腫瘍学	臨床腫瘍学	感染症学	リハビリテーション医学	
					緩和医療学	疾患バイオマーカー・標的分子制御学	分子神経科学	医療情報処理技術応用研究分野	
					バイオインフォマティクス学	周産期発生病態解明学	最新医学研究コース	高度臨床医育成コース	
					未来がん医療プロジェクト育成コース				

II. 事業の概要

1. 法人本部・教育・研究・診療活動

2023 年度の法人本部・教育・研究・診療活動における主な改革・施策の状況は、次のとおりです。

法人本部

- ・ 菅生キャンパスリニューアル事業の推進
- ・ DX 推進による業務効率の更なる向上
- ・ 積極的な広報戦略によるブランド力の強化
- ・ 東横病院の閉院

医学部

- ・ 大学基準協会による大学認証評価に認定
- ・ オープンキャンパス・聖医祭を合同開催
- ・ 一般選抜試験会場をパシフィコ横浜ノースに変更
- ・ 国試対策プログラムの導入
- ・ 小児心臓血管外科分野、小児集中治療分野の設置
- ・ ラオス保健科学大学と合意書を締結

大学院

- ・ 全専攻分野共通講義（総合教育科目・最新医学講義）においてオンデマンド講義（WEBCLASS）を実施

大学病院

- ・ 継続的に病院の質改善に取り組む TOTAL QUALITY MANAGEMENT 室を設置
- ・ PHR 機能を含む患者向け公式アプリ「マリアンナアプリ」を公開
- ・ こどものこころセンター、神経内分泌腫瘍センター、細胞治療センターの開設
- ・ 救命救急センター充実段階評価で最高の S 評価を 6 年連続で獲得

東横病院①

- ・ 閉院までの診療スケジュール（概要）

外来診療	新患		2024 年 2 月 29 日(木)まで
	再診		2024 年 3 月 23 日(土)まで
入院診療	予定入院受入れ		2024 年 2 月 29 日(木)まで
救急診療	救急車	すべて受入れ	2023 年 12 月 28 日(木)まで
		かかりつけ患者のみ	2024 年 1 月 31 日(水)まで
		受入れ停止	2024 年 2 月 1 日(木)より
	ウォークイン	すべて受入れ	2024 年 1 月 31 日(水)まで
		かかりつけ患者のみ	2024 年 2 月 29 日(木)まで
		受入れ停止	2024 年 3 月 1 日(金)より
専門ドック（脳、心臓、消化器ドック）			2024 年 1 月 31 日(水)まで
健康診断、人間ドック※内容によって最終日が異なる			2024 年 3 月 9 日(土)まで

1. 法人本部・教育・研究・診療活動（2）

東横病院②

・病棟運用概要

一般病棟合併（3階・5階病棟の合併）	5階病棟閉鎖、5階病棟入院患者を3階病棟へ移動、3階55床、4階42床、HCU6床、SCU6床、合計109床運用	2023年5月2日（火）
一般病棟合併（3階・4階病棟の合併）	4階病棟閉鎖、4階病棟患者を3階へ移動、3階55床、HCU6床、SCU6床、合計67床運用	2023年12月26日（火）
SCU閉鎖	1月16日（火）16時～閉鎖、一般病棟3階55床、HCU6床、合計61床運用	2024年1月16日（火）
HCU閉鎖	一般病棟3階55床運用	2024年2月29日（木）

西部病院

- ・診療科名の変更（耳鼻咽喉科を耳鼻咽喉・頭頸部外科に）
- ・地域連携セミナー開催（旭区、瀬谷区、泉区、大和市の4回）
- ・市民公開講座実施（WEB配信9回、現地開催1回 やまと芸術文化ホールシリウス）
- ・3階北病棟再開プロジェクトの継続
- ・2024年7月の病院機能評価受審に向けた準備委員会ならびに部会の設置
- ・神奈川県立横浜瀬谷高等学校写真部による展示スペース設置

多摩病院

- ・関東信越厚生局適時調査実施
- ・市立3病院合同ヘリコプター搬送訓練
- ・日本医療機能評価機構 病院機能評価受審

ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

- ・対面による乳がん地域連携の会の実施
- ・自費検診全てのWEB予約化

看護専門学校

- ・COVID19対策として病院実習・学内実習併用に臨地実習実施
- ・コロナ以降初めての学校祭、5年ぶりの在校生参加、保証人参列の中の卒業式の開催
- ・1・2年生第5次新カリキュラムスタート
- ・第6回関係者評価実施
- ・全校生徒が校舎に集う学校祭施行
- ・法人3病院での4年ぶりのキャンドルサービス実施

1-1 大 学 病 院

開 院 年 月 日	1974 年 2 月 12 日
許 可 病 床 数	955 床（稼動病床数 955 床）〔一般病棟 924 床、精神病棟 31 床〕
患 者 数	入院延人数 299,601 人 1 日入院平均 819 人 外来延人数 572,777 人 1 日外来平均 1,962 人
診 療 科 等	総合診療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、神経精神科、小児科、新生児科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、腎泌尿器外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線診断・IVR 科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科、緩和ケア科 (34 診療科) 認知症（老年精神疾患）治療研究センター、統合失調症治療センター、呼吸器病センター、ハートセンター、心不全センター、ハイブリッド心臓大動脈治療センター、脳卒中センター、パーキンソン病治療センター、肝疾患医療センター、脊椎センター、人工関節センター、こどもセンター、こどものこころセンター、内分泌疾患センター、ゲノム医療推進センター（遺伝診療部、がんゲノム診療部）、緩和ケアセンター、感染症センター、糖尿病センター、てんかんセンター、胆道・膵臓病センター、リウマチ・膠原病生涯治療センター、神経内分泌腫瘍センター、細胞治療センター (23 診療連携部門) 救命救急センター、夜間急患センター、リハビリテーションセンター、健康診断センター、総合周産期母子医療センター、生殖医療センター、精神療法・ストレスケアセンター、腎臓病センター、腫瘍センター、内視鏡センター、超音波センター、画像センター、放射線治療センター、輸血部、臨床検査センター、手術・IVR センター、集中治療センター、中央器材室 (18 診療施設部門)

1-2 東 横 病 院

開 設 年 月 日	1971 年 4 月 1 日 (2008 年 6 月 16 日リニューアルオープン)
許 可 病 床 数	138 床（稼動病床数 131 床）
患 者 数	入院延人数 23,436 人 1 日入院平均 64 人 外来延人数 65,487 人 1 日外来平均 251 人
診 療 科 等	循環器内科、消化器内科、脳神経内科、代謝・内分泌内科、リウマチ内科・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、脳血管内治療科、婦人科、放射線科、麻酔科、病理診断科 (14 診療科) 消化器病センター、心臓病センター、脳神経・脳卒中センター、失神センター、生活習慣病センター、救急集中治療部、健康診断センター(女性検診センターを含む) (7 診療施設)

1-3 西部病院

開設年月日	1987年5月25日
許可病床数	518床（稼動病床数 420床）
患者数	入院延人数 125,840人 1日入院平均 344人 外来延人数 234,614人 1日外来平均 875人
診療科等	総合診療内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓・高血圧内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科（消化器外科、乳腺・内分泌外科）、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、麻酔科、病理診断科 （25診療科） 心臓血管センター、脳神経センター、救命救急センター（脳卒中センター）、周産期センター、足の外科センター、大腸センター、めまいセンター （7診療施設。ただし、脳神経センターは休止中）

1-4 多摩病院

開院年月日	2006年2月1日
許可病床数	376床（稼働病床数 369床）
患者数	入院延人数 100,023人 1日入院平均 273人 外来延人数 198,131人 1日外来平均 739人
診療科等	総合診療内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、アレルギー科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科 （32診療科） 救急災害医療センター、腎センター、内視鏡センター、健康診断部 （4診療施設）

1-5 プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

開院年月日	2009年3月2日
許可病床数	無床
外来患者数	外来延人数 36,006人 1日外来平均 134人
診療科等	乳腺外科、放射線科、腫瘍内科（乳腺疾患に特化した診療施設）

2. 学生在籍者数（2023 年 4 月 1 日時点）

（1）医学部

学 年	定 員	学生数
1 学 年	115 名	120 (67) 名
2 学 年	115 名	116 (71) 名
3 学 年	115 名	119 (74) 名
4 学 年	115 名	116 (64) 名
5 学 年	115 名	112 (52) 名
6 学 年	115 名	113 (46) 名
合 計	690 名	696 (374) 名

(括弧内数字は女子学生数)

（2）大学院

学 年	定 員	合 計
1 学 年	60 名	31 (16) 名
2 学 年	60 名	18 (5) 名
3 学 年	60 名	30 (9) 名
4 学 年	60 名	30 (14) 名
合 計	240 名	109 (44) 名

(括弧内数字は女子学生数)

（3）看護専門学校

学 年	定 員	学生数
1 学 年	80 名	88 (12) 名
2 学 年	80 名	74 (5) 名
3 学 年	80 名	80 (7) 名
合 計	240 名	242 (24) 名

(括弧内数字は男子学生数)

3. 入学試験状況

(1) 医学部

学校推薦型入学試験（地域枠含む）

第1次試験 2023年 11月 25日（土）

同合格発表 2023年 12月 1日（金）

一般入学試験（前期）

第1次試験 2024年 2月 8日（木）

同合格発表 2024年 2月 14日（水）

第2次試験 2024年 2月 17日（土）・18日（日）

同合格発表 2024年 2月 22日（木）

一般入学試験（後期）

第1次試験 2024年 3月 5日（火）

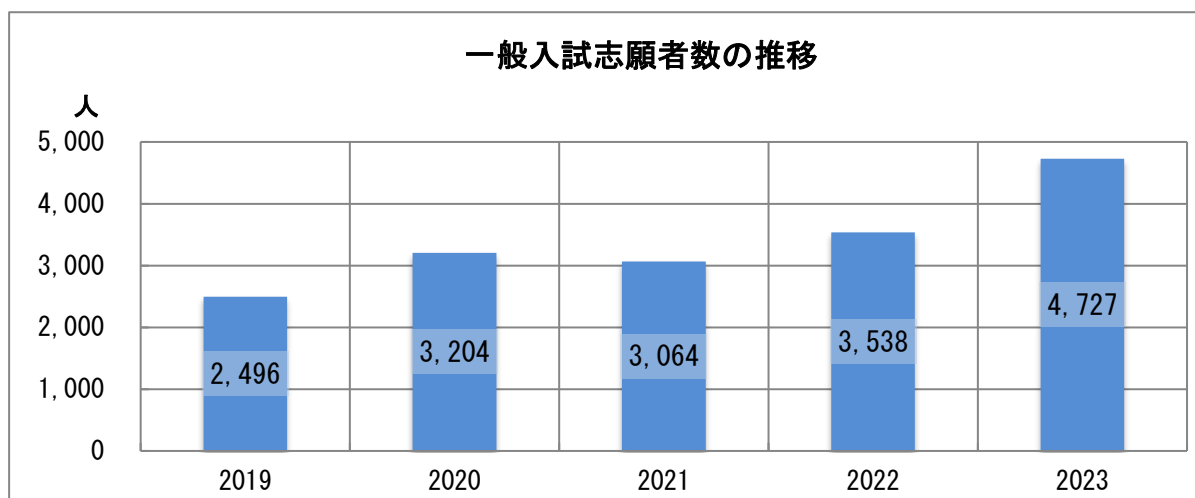
同合格発表 2024年 3月 12日（火）

第2次試験 2024年 3月 15日（金）

同合格発表 2024年 3月 21日（木）

区 分	募集人員	志願者数	入学者数(2024年度)
推薦（地域枠含む）	約 32 名	67（45）名	32（22）名
一 般（前 期）	約 75 名	3,210（1,469）名	75（42）名
一 般（後 期）	約 10 名	1,517（729）名	10（5）名
合 計	117 名	4,794（2,243）名	117（69）名

（括弧内数字は女子学生数）

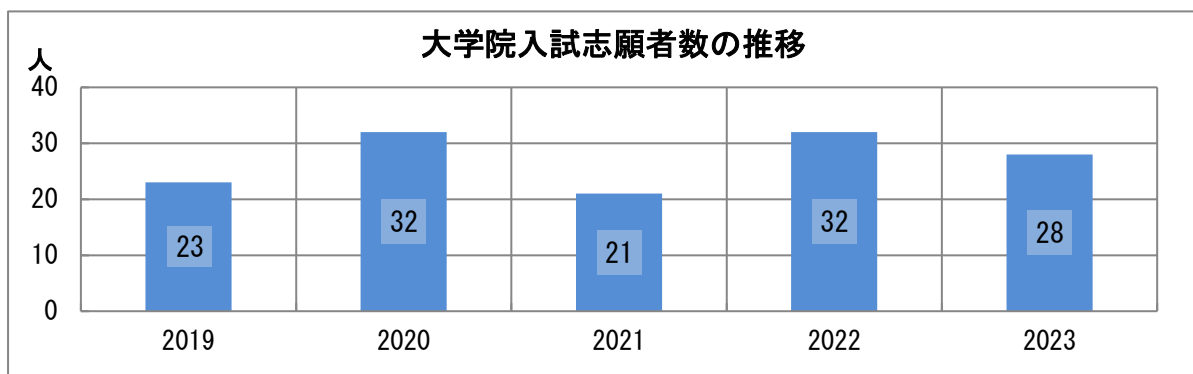


(2) 大学院

第1次入学試験 2023年 11月 10日(金)
同合格発表 2023年 12月 7日(木)
第2次入学試験 2024年 1月 12日(金)
同合格発表 2024年 2月 8日(木)

専攻	募集人員	志願者数	入学者数(2024年度)
医科学系	60名	28(8)名	26(8)名

(括弧内数字は女子学生数)

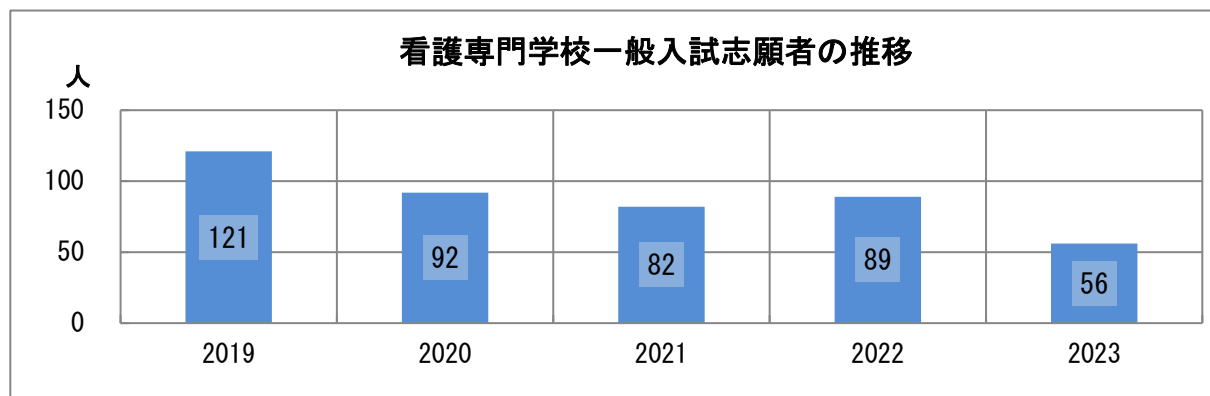


(3) 看護専門学校

社会人・学士入学試験 2023年 9月 30日(土)
同合格発表 2023年 10月 3日(火)
推薦入学試験 2023年 10月 28日(土)
同合格発表 2023年 10月 31日(火)
一般入学試験(Ⅰ期) 2024年 1月 8日(月)
同合格発表 2024年 1月 11日(木)
一般入学試験(Ⅱ期) 2024年 3月 16日(土)
同合格発表 2024年 3月 18日(月)

区分	募集人員	志願者数	入学者数(2024年度)
社会人・学士		19(3)名	12(0)名
推薦		30(4)名	28(4)名
一般(Ⅰ期)		45(2)名	19(2)名
一般(Ⅱ期)		11(2)名	9(2)名
合計	全体で 80名	105(11)名	68(8)名

(括弧内数字は男子学生数)

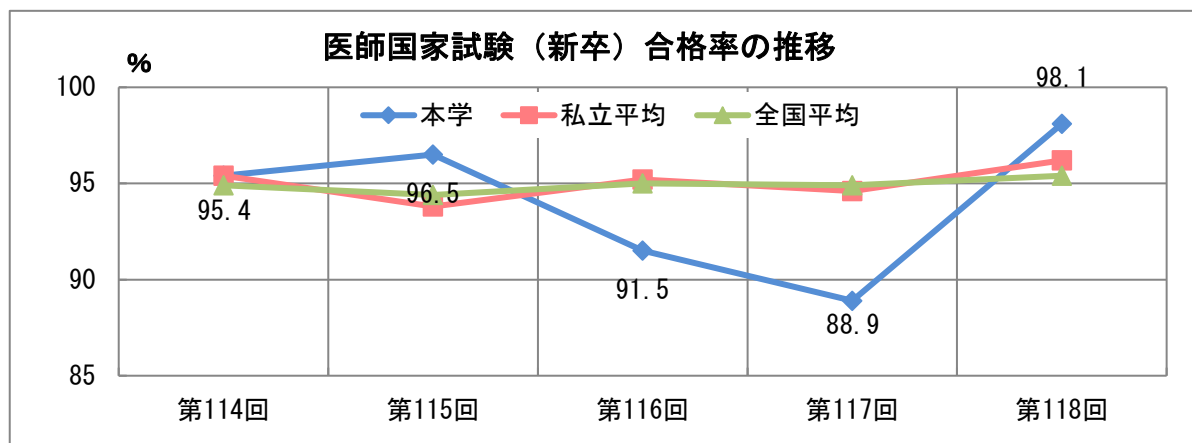


4. 国家試験合格状況

(1) 第118回医師国家試験合格状況

第118回医師国家試験は、本学の合格者数は117名、合格率96.7%となりました。

	新 卒	既 卒	全 体
受 験 者 数	107 名	14 名	121 名
合 格 者 数	105 名	12 名	117 名
本 学 合 格 率	98.1%	85.7%	96.7%
私立医科大学平均合格率	96.2%	68.4%	94.1%
全 国 平 均 合 格 率	95.4%	58.9%	92.4%

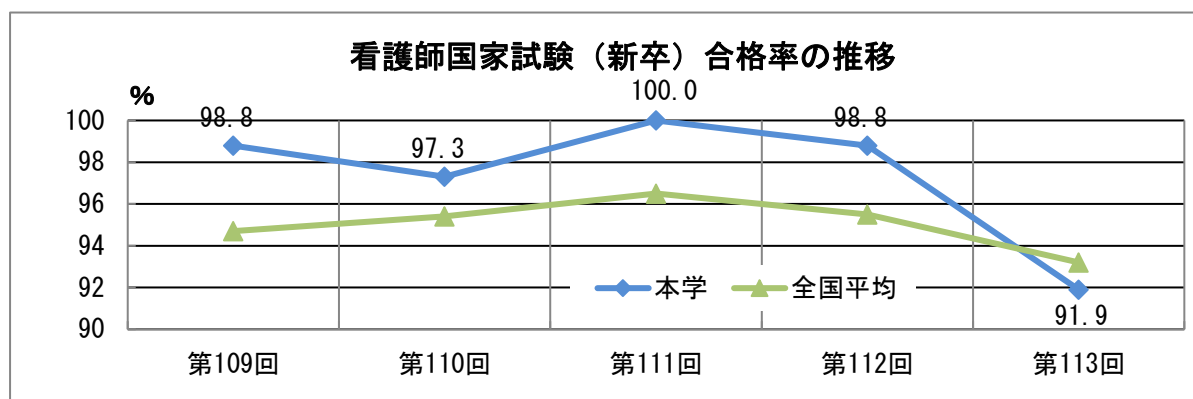


(2) 第113回看護師国家試験合格状況

第113回看護師国家試験の合格率は92.0%で、全国平均の合格率を上回る結果となりました。

なお、新卒の合格者68名のうち65名が本学附属病院等に入職しました。

	新 卒	既 卒	全 体
受 験 者 数	74 名	1 名	75 名
合 格 者 数	68 名	1 名	69 名
本 学 合 格 率	91.9%	100%	92.0%
全 国 平 均 合 格 率	93.2%	95.6%	87.8%



5. 博士(医学)の学位授与状況

課 程 修 了 に よ る も の	24 件
論 文 提 出 に よ る も の	10 件

6. 補助金交付状況

(1) 国庫補助金・地方公共団体補助金等交付状況

2023年度の国庫補助金・地方公共団体補助金等の交付状況は、次のとおりです。

部 門	補助者	件数	交付金額
医 学 部	国庫補助金	3件	2,068,067千円
	神奈川県	0件	
	川崎市	1件	
	私学事業団	1件	
大 学 病 院	国庫補助金	6件	748,691千円
	神奈川県	13件	
	川崎市	10件	
	その他	0件	
東 横 病 院	国庫補助金	1件	20,353千円
	神奈川県	8件	
	川崎市	7件	
西 部 病 院	国庫補助金	2件	278,510千円
	神奈川県	11件	
	横浜市	6件	
	その他	0件	
多 摩 病 院	国庫補助金	3件	1,225,659千円
	神奈川県	12件	
	川崎市	4件	
	その他	0件	
看 護 専 門 学 校	神奈川県	3件	45,179千円
	川崎市	3件	
プレスト&イメージング センター	国庫補助金	1件	492千円
	神奈川県	1件	
法 人 合 計			4,386,951千円
内 訳	国庫補助金(私学事業団含)		2,157,823千円
	地方公共団体補助金		2,229,128千円
	その他補助金		0千円

(2) 文部科学省科学研究費補助金申請・交付状況

2023年度科学研究費補助金は、次のとおり申請 229 件に対し新規採択が 38 件、継続採択が 88 件の合計 126 件に対し 161,200 千円が交付されました。なお申請件数に対する採択率は 16.59%です。

研究種目	新 規			継 続	
	申請件数	採択件数	金額	採択件数	金額
新 学 術 領 域 研 究	0件	0件	0千円	1件	2,300千円
基 盤 研 究 (S)	0件	0件	0千円	0件	0千円
基 盤 研 究 (A)	0件	0件	0千円	0件	0千円
基 盤 研 究 (B)	9件	2件	10,800千円	6件	22,000千円
基 盤 研 究 (C)	156件	26件	32,700千円	59件	50,800千円
挑戦的研究(開拓)	0件	0件	0千円	0件	0千円
挑戦的研究(萌芽)	10件	0件	0千円	1件	1,700千円
若 手 研 究	44件	10件	11,000千円	18件	15,800千円
研究活動スタート支援	9件	0件	0千円	2件	2,200千円
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(A))	1件	0件	0千円	1件	11,900千円
学術変革領域研究 (B)	0件	0件	0千円	0件	0千円
特別研究員奨励費	0件	0件	0千円	0件	0千円
合 計	229件	38件	54,500千円	88件	106,700千円

7. 主な施設・設備の更新等

2023 年度における主な施設・設備の更新等は、次のとおりです。

◆ 大学・大学院

施設関係	菅生キャンパス近隣土地・建物（鷺沼セミナーハウス）取得
設備関係	卓上型フローサイトメーター CytoFLEX 取得
	教育棟 SGL 教室ネットワークカメラ取得
	教育棟 MML 教室液晶レーザープロジェクター一式更新

◆ 大学病院

設備関係	医療情報システム BESTCare2.0J 機能追加
	リニアック取得

◆ 西部病院

設備関係	手術用ナビゲーションシステム StealthStation S8 取得
	心臓カテーテル用検査装置更新

◆ 多摩病院

設備関係	空気感染隔離ユニットミニティ取得
	放射線（ガンマ線）検出装置更新

Ⅲ. 財務の概要

1. 財務の概況

2023年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の区分が2類から5類に引き下げられたことを契機に、診療報酬の特例加算や施設基準、治療薬の全額公費負担の見直しにより通常の医療提供体制へ段階的に移行され、新型コロナ関連公的支援金の交付も縮小されるなど、約3年間続いたコロナ禍からの脱却が鮮明になりました。

また、2022年に始まったロシアによるウクライナ侵攻や、中東産油国の減産等によるエネルギー価格の高騰は、政府による供給事業者への電気・ガス価格激変緩和対策補助金によりある程度抑制されましたが、原材料高と日米金利差に伴う円安の進行が諸物価を押し上げており、法人の支出増への影響が懸念されます。

そうした状況において、附属病院等では患者数は回復しつつあるものの、コロナ禍前の水準には至っていません。医療収入は753億円と前年比5,349百万円増となりましたが、要因としては昨年度に新入院棟が稼働を開始した大学病院などの診療単価の増加によるものです。医療収入増加に伴う医薬品等直接材料費も前年比1,671百万円増、人員増などによる人件費も前年比565百万円増となり、法人全体の基本金組入前収支差額は▲5,363百万円と、前年度に引き続き経営状況は極めて厳しいものとなっています。こうした状況から、様々な収支改善策を試みるも赤字が続いていた東横病院を、2023年度末をもってやむなく閉院することとなりました。

なお減価償却額は前述の新入院棟等による大学病院で前年比1,818百万円増、東横病院の建物の耐用年数短縮による増加が前年比1,700百万円増となっています。収支差額に減価償却額等を足し戻した償却前収支差額は、前年度は開学以来初のマイナスでしたが、2023年度は1,437百万円のプラスとなりました。

菅生キャンパスリニューアル計画は外来棟の改修やエントランス棟の建設など計画通りに進捗していますが、原材料費の高騰や労務費の増加による追加支出が今後発生する見込みです。

法人全体の財務状況を鑑み、菅生キャンパスリニューアル事業以外の設備投資や経常経費は必要最低限に抑制しましたが、新型コロナ関連公的支援金を原資とした特定資産を取崩し、そうした設備投資や運転資金に充当しました。

そのほか、前理事長夫人の故前田和子氏より不動産と預金の遺贈を受け、不動産は鷺沼セミナーハウスとして利活用を計画し、預金は前田研究奨励金引当特定資産への繰入れや新設した聖堂設備等引当特定資産への繰入れを行いました。

2023年10月からのインボイス制度開始にあたり、請求書電子受領等のクラウドサービスを教職員および取引先のご協力を得て円滑に導入することができ、会計業務の大幅な負担増の回避と帳票類の一部電子化を実現できました。

また、限られた資源を最大限に生かして、申請書や予約表等のペーパーレス化、RPA、チャットボットの導入など、DXにつながる業務効率改善の取組みが部署横断的に進められています。

借入金の返済も見据え、経営状況を改善する施策を着実にうちつつ、大学と病院に寄せられた大きな期待と信用に応える取組みを今後も継続していきます。

2. 学校法人会計

(1) 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度内の教育研究診療活動で発生した全ての資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったかを明らかにするものです。

(収入の部)			(単位 百万円)		
勘 定 科 目	2023年度決算①	2023年度補正②	2022年度決算①	増減(①－②)	増減(①－③)
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	4,230	4,230	4,252	0	△ 22
寄 付 金 収 入	374	514	408	△ 140	△ 34
補 助 金 収 入	3,161	3,239	5,378	△ 78	△ 2,217
医 療 収 入	65,564	64,717	60,701	847	4,863
そ の 他 の 収 入	18,764	18,940	22,498	△ 176	△ 3,734
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 13,047	△ 11,841	△ 12,973	△ 1,206	△ 74
当 年 度 収 入 合 計 (A)	79,046	79,799	80,264	△ 753	△ 1,218
借 入 金 等 収 入 (1)	600	600	29,000	0	△ 28,400
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	17,890	17,890	9,368	0	8,522
収 入 の 部 合 計	97,536	98,289	118,632	△ 753	△ 21,096

(支出の部)					
勘 定 科 目	2023年度決算①	2023年度補正②	2022年度決算①	増減(①－②)	増減(①－③)
人 件 費 支 出	32,401	32,434	31,656	△ 33	745
教 育 研 究 経 費 支 出	2,694	2,823	3,151	△ 129	△ 457
医 療 経 費 支 出	36,845	36,625	35,855	220	990
管 理 経 費 支 出	1,778	1,809	2,612	△ 31	△ 834
施 設 ・ 設 備 関 係 支 出	1,388	1,693	22,833	△ 305	△ 21,445
借 入 金 等 利 息 支 出	342	343	98	△ 1	244
そ の 他 の 支 出	23,383	23,250	16,228	133	7,155
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 13,097	△ 12,975	△ 21,976	△ 122	8,879
当 年 度 支 出 合 計 (B)	85,734	86,002	90,457	△ 268	△ 4,723
借 入 金 等 返 済 支 出 (2)	285	285	10,285	0	△ 10,000
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	11,517	12,002	17,890	△ 485	△ 6,373
支 出 の 部 合 計	97,536	98,289	118,632	△ 753	△ 21,096

当 年 度 資 金 差 額 (A)－(B)	△ 6,688	△ 6,203	△ 10,193	△ 485	3,505
借 入 金 差 額 (1)－(2)	315	315	18,715	0	△ 18,400

(2) 活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に相当するもので、当該年度の法人の活動を①教育研究診療活動、②施設整備等の活動、③財務活動・収益事業活動等に区分し、活動ごとの資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったのかを明らかにするものです。

単位(百万円)

●教育活動による資金収支		2023決算 ①	2023補正 ②	2022決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学 納 金 収 入	4,230	4,230	4,252	0	▲ 22
	寄 付 金 収 入	270	151	232	119	38
	経常費等補助金収入	3,003	3,083	5,219	▲ 80	▲ 2,216
	医 療 収 入	65,564	64,717	60,701	847	4,863
	そ の 他 の 収 入	2,692	2,508	2,483	184	209
	収 入 合 計 (A)	75,759	74,689	72,887	1,070	2,872
支出	人 件 費 支 出	32,401	32,434	31,656	▲ 33	745
	教育研究経費支出	2,694	2,823	3,151	▲ 129	▲ 457
	医 療 経 費 支 出	36,845	36,625	35,855	220	990
	管 理 経 費 支 出	1,764	1,809	2,604	▲ 45	▲ 840
	支 出 合 計 (B)	73,704	73,691	73,266	13	438
調 整 勘 定 等 (C)		▲ 592	414	3,004	▲ 1,006	▲ 3,596
資金差額 (D=A-B+C)		1,463	1,412	2,625	51	▲ 1,162

2023年度、教育活動(研究・診療含む)資金収支は収入、支出ともに増加も前期期末収金収入や期末未払金の差異により資金差額は**1,463百万円(D)**となりました。

機器備品の調達等、資本的支出を含む**施設整備等活動の資金差額は▲9,557百万円(H)**で、新型コロナ関連支援金の減少、前年度の大学病院新入院棟竣工・稼働や電子カルテ更新等施設・設備関係支出との相対的減少によるものです。教育と施設整備を合わせた資金差額は▲8,094百万円(D+H)です。

借入・貸付とその返済、利息や収益事業からの繰入を含む**財務活動等の資金差額は1,721百万円(N)**と(D+H)を合算した資金差額は、前年度から**6,373百万円(Q)**減少し、次年度へは**11,517百万円(P)**の支払資金を繰越すことになります。(尚、この次年度繰越支払資金は、1か月分の運転資金にあたる年度末4号基本金5,614百万円を上回っています。)

●施設整備等活動による資金収支

収入	寄付金・補助金収入	263	519	335	▲ 256	▲ 72
	そ の 他 の 収 入	2	0	448	2	▲ 446
	収 入 合 計 (E)	265	519	783	▲ 254	▲ 518
支出	施設・設備関係支出	1,388	1,693	22,833	▲ 305	▲ 21,445
	そ の 他 の 支 出	0	0	445	0	▲ 445
	支 出 合 計 (F)	1,388	1,693	23,278	▲ 305	▲ 21,890
調 整 勘 定 等 (G)		▲ 8,434	▲ 8,159	8,458	▲ 275	▲ 16,892
資金差額 (H=E-F+G)		▲ 9,557	▲ 9,333	▲ 14,037	▲ 224	4,480
資金差額小計 (D+H)		▲ 8,094	▲ 7,921	▲ 11,412	▲ 173	3,318

●その他の活動による資金収支 ※財務活動、収益事業活動等

収入	借入金等収入(I)	600	600	29,000	0	▲ 28,400
	収 益 事 業 収 入	0	0	0	0	0
	そ の 他 の 収 入	3,202	3,388	5,185	▲ 186	▲ 1,983
	収 入 合 計 (J)	3,802	3,988	34,185	▲ 186	▲ 30,383
支出	借入金等返済支出(K)	285	285	10,285	0	▲ 10,000
	借入金等利息支出	342	343	98	▲ 1	244
	そ の 他 の 支 出	1,454	1,327	3,868	127	▲ 2,414
	支 出 合 計 (L)	2,081	1,955	14,251	126	▲ 12,170
調 整 勘 定 等 (M)		0	0	0	0	0
資金差額 (N=J-L+M)		1,721	2,033	19,934	▲ 312	▲ 18,213

借入金等収入(I)600百万円はリニューアル事業計画に係るものです。

収益事業会計として区分経理している多摩病院の当期純利益は▲823百万円とマイナスになったため、学校会計への繰入れはありません。

前年度繰越支払資金(O)		17,890	17,890	9,368	0	8,522
次年度繰越支払資金(P)		11,517	12,002	17,890	▲ 485	▲ 6,373
支払資金増減 (Q=D+H+N=P-O)		▲ 6,373	▲ 5,888	8,522	▲ 485	▲ 14,895
内 訳	借入金差額(R=I-K)	315	315	18,715	0	▲ 18,400
	当年度資金差額(S=Q-R)	▲ 6,688	▲ 6,203	▲ 10,193	▲ 485	3,505

借入金差額(借入収入-返済支出)315百万円(R)を除いた当年度の資金差額は▲6,688百万円(S)となります。

(3) 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当するもので、当該年度の事業活動における収入と支出の内容および、その均衡状態を明らかにするものです。法人の事業活動を経常的な活動(①教育研究診療活動、②財務活動、収益事業活動)と③臨時的な活動に区分し、それぞれの収支を把握します。

「基本金組入前当年度収支差額」は、当該年度の短期的な収支バランス(いわゆる、黒字なのか、赤字なのか)を示しています。また、当該年度の基本金増減を加味した「翌年度繰越収支差額」は、長期的視点による収支バランスで、将来にわたり永続的な事業活動を維持するためには、収支均衡状態に近づくことが理想とされます。

単位(百万円)

●経常収支 (教育活動収支)			2023決算 ①	2023補正 ②	2022決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学 納 金		4,230	4,230	4,252	0	▲ 22
	寄 付 金		272	152	234	120	38
	経 常 費 等 補 助 金		3,003	3,083	5,219	▲ 80	▲ 2,216
	医 療 収 入		65,564	64,717	60,701	847	4,863
	そ の 他 の 収 入		2,693	2,508	2,483	185	210
収 入 合 計 (A)			75,762	74,690	72,889	1,072	2,873
支出	人 件 費		32,382	32,661	31,881	▲ 279	501
	教 育 研 究 経 費		3,095	3,222	3,553	▲ 127	▲ 458
	医 療 経 費		42,924	41,035	38,787	1,889	4,137
	管 理 経 費		1,833	1,878	2,676	▲ 45	▲ 843
	そ の 他 の 支 出		4	47	8	▲ 43	▲ 4
(減 価 償 却 額)			(6,428)	(4,733)	(3,051)	1,695	3,377
支 出 合 計 (B)			80,238	78,843	76,905	1,395	3,333
収 支 差 額 (C=A-B)			▲ 4,476	▲ 4,153	▲ 4,016	▲ 323	▲ 460

学校法人の本業である教育活動(研究・診療含む)の収入は、コロナ関連支援金(補助金)の減少の一方、医療収入増や経常費等補助金増により、前年比増の**75,762百万円(A)**となりました。

支出では、前年度に大学病院新入院棟が竣工・稼働を開始したため、什器備品代、修繕費が減少も、減価償却額や医薬品等材料費、委託費、人件費などで経費が増加しました。なお東横病院閉院に伴い、耐用年数を見直した建物減価償却額を計上しています。**教育活動収支差額は、前年比▲460百万円の▲4,476百万円(C)**となりました。

●経常収支(教育活動外収支) ※財務活動収支、収益事業活動収支

収入	受取利息・配当金他	36	36	26	0	10
	収 益 事 業 収 入	0	0	0	0	0
	収 入 合 計 (D)	36	36	26	0	10
支出	借 入 金 等 利 息	342	343	98	▲ 1	244
	そ の 他 の 支 出	0	0	0	0	0
	支 出 合 計 (E)	342	343	98	▲ 1	244
収 支 差 額 (F=D-E)		▲ 306	▲ 307	▲ 72	1	▲ 234
経常収支差額 (G=C+F)		▲ 4,782	▲ 4,460	▲ 4,088	▲ 322	▲ 694

また、財務活動による収入36百万円(D)に対し、リニューアル事業借入のほか診療報酬債権流動化再開による借入金等利息342百万円と支出増のため、**教育活動外収支差額は▲306百万円(F)**、教育活動収支差額と合わせた**経常収支差額は▲4,782百万円(G)**となりました。

●特別収支 ※臨時的な活動収支

収入	資 産 売 却 差 額	2	0	1	2	1
	寄 付 金 ・ 補 助 金 収 入	364	589	372	▲ 225	▲ 8
	そ の 他 の 収 入	0	0	16	0	▲ 16
	収 入 合 計 (H)	366	589	389	▲ 223	▲ 23
支出	資 産 処 分 差 額	110	108	53	2	57
	そ の 他 の 支 出	14	0	7	14	7
	支 出 合 計 (I)	124	108	60	16	64
特別収支差額 (J=H-I)		242	481	329	▲ 239	▲ 87

施設設備整備に係る借入金の利子助成補助金や、50周年記念事業募金、教育研究用機器備品等の資産処分差額などを合わせた臨時的な活動による**特別収支差額は242百万円(J)**となりました。

基本金組入前当年度収支差額(K=G+J-Q-R)	▲ 4,540	▲ 3,979	▲ 3,759	▲ 561	▲ 781
基 本 金 組 入 額 (L)	▲ 3,381	▲ 1,635	▲ 4,027	▲ 1,746	646
当年度収支差額(M=K+L)	▲ 7,921	▲ 5,614	▲ 7,786	▲ 2,307	▲ 135
前年度繰越収支差額(N)	▲ 58,049	▲ 58,049	▲ 50,386	0	▲ 7,663
基 本 金 取 崩 額 (O)	51	91	123	▲ 40	▲ 72
翌年度繰越収支差額(P=M+N+O)	▲ 65,919	▲ 63,572	▲ 58,049	▲ 2,347	▲ 7,870

(参考)

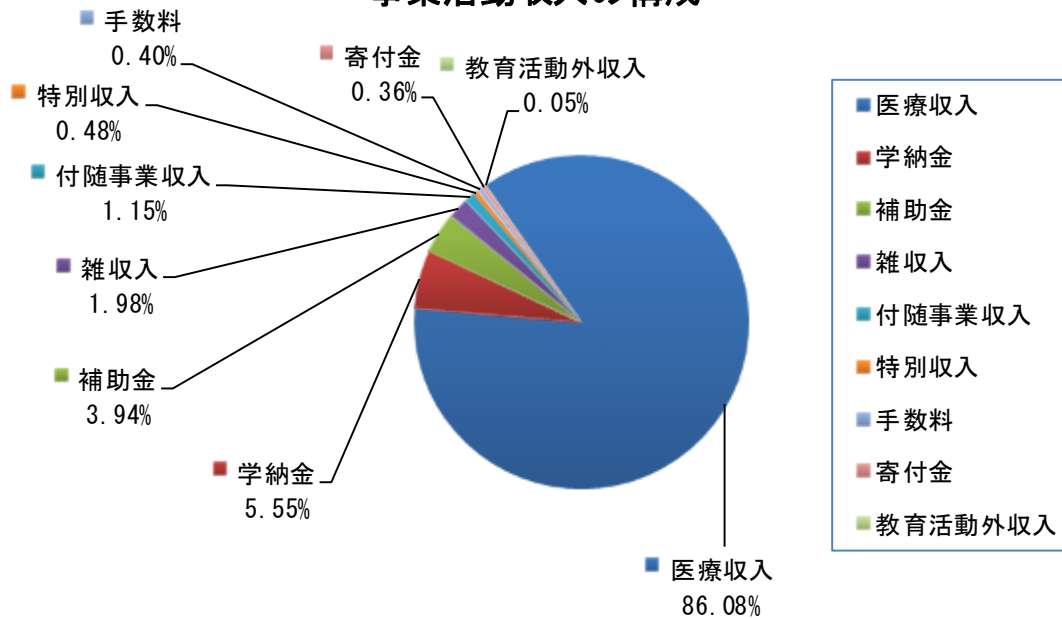
事業活動収入計(Q)	76,164	75,315	73,304	849	2,860
事業活動支出計(R)	80,704	79,294	77,063	1,410	3,641

この結果、事業活動収支差額は、前年度を781百万円下回る**▲4,540百万円(K)**となりました。

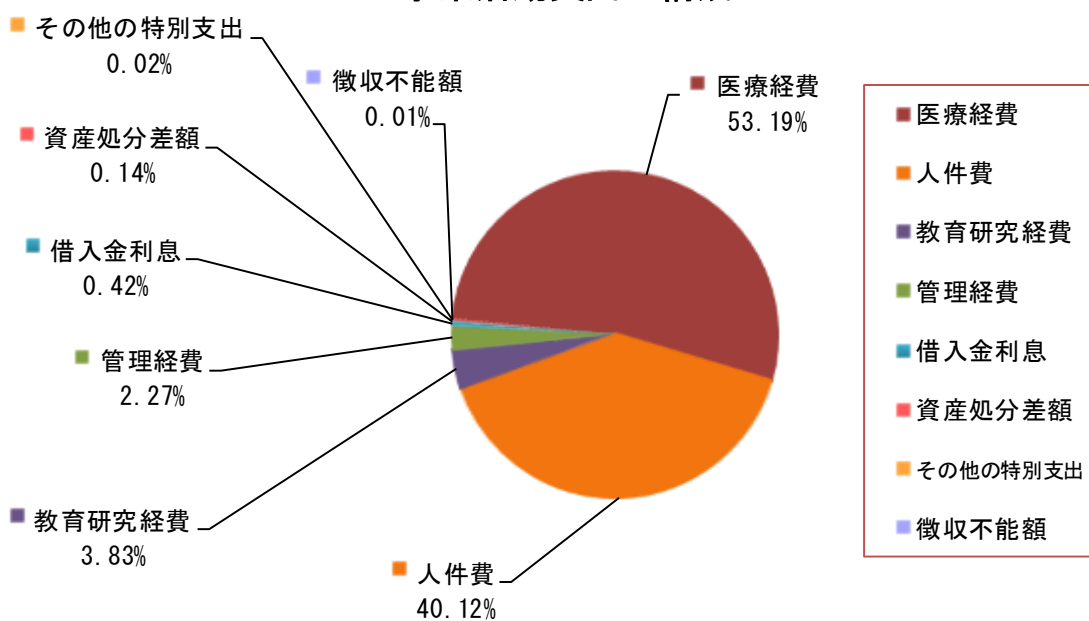
また、長期的収支均衡の指標となる翌年度繰越収支差額は、**▲65,919百万円(P)**となっています。

なお、成長性の指標の一つである事業活動収入は前年度を2,860百万円上回る**76,164百万円(Q)**となりました。

事業活動収入の構成



事業活動支出の構成



(4) 貸借対照表の概要

貸借対照表は、B/S(バランスシート)とも言われ、年度末における法人の資産・負債・純資産の全てを表示し、法人の財政状態を表します。固定資産や流動資産といった財産の運用形態と、その調達源泉を示しています。負債は、将来返さなければならない他人のお金であり、純資産は、返す必要のない法人の自己資金にあたります。(事業活動収支計算書における基本金組入前当年度収支差額(従来の帰属収支差額)は、前年度末と当該年度末の自己資金の増減と一致します。)

単位(百万円)

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
固定資産	79,965	86,850	▲ 6,885	固定負債	53,565	53,347	218
有形固定資産	65,661	70,624	▲ 4,963	長期借入金	40,776	40,461	315
土地・建物・構築物	98,556	98,334	222	退職給与引当金	12,785	12,879	▲ 94
機器備品	27,751	29,778	▲ 2,027	その他の負債	4	7	▲ 3
その他の資産	4,146	4,150	▲ 4	流動負債	15,582	24,574	▲ 8,992
減価償却累計額	▲ 64,792	▲ 61,638	▲ 3,154	短期借入金	285	285	0
特定資産	10,254	12,035	▲ 1,781	未払金	13,510	22,439	▲ 8,929
その他の固定資産	4,050	4,191	▲ 141	その他の負債	1,787	1,850	▲ 63
有価証券	116	116	0	負債の部合計	69,147	77,921	▲ 8,774
収益事業元入金	111	111	0	基本金	103,029	99,699	3,330
その他の資産	3,823	3,964	▲ 141	1号基本金	96,908	93,578	3,330
				2号基本金	0	0	0
流動資産	26,292	32,721	▲ 6,429	3号基本金	507	507	0
現金・預金	11,517	17,890	▲ 6,373	4号基本金	5,614	5,614	0
その他の資産	14,775	14,831	▲ 56	繰越収支差額	▲ 65,919	▲ 58,049	▲ 7,870
				純資産の部合計	37,110	41,650	▲ 4,540
合 計	106,257	119,571	▲ 13,314	合 計	106,257	119,571	▲ 13,314

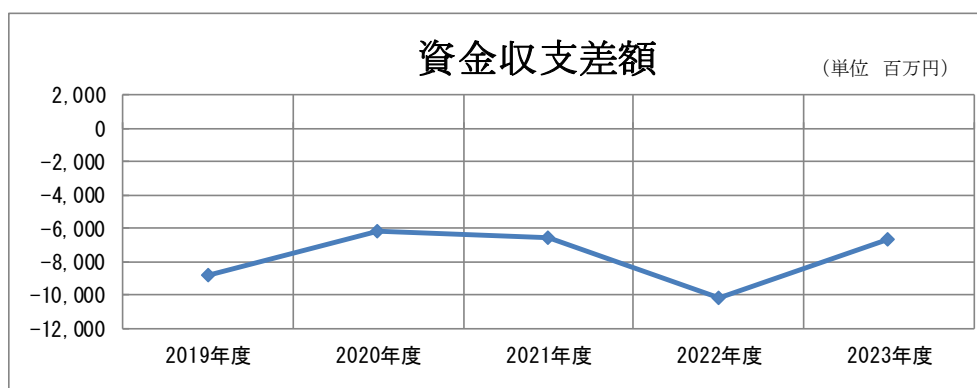
(5) 財務比率などの推移

① 資金収支差額推移表

(単位 百万円)

勘定科目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
学納金	4,299	4,311	4,311	4,252	4,230
補助金	2,723	13,122	8,833	5,378	3,161
医療収入	58,557	54,286	60,423	60,701	65,564
その他	2,409	1,363	10,005	9,933	6,091
資金収入計	67,988	73,082	83,572	80,264	79,046
人件費	28,924	29,261	30,761	31,656	32,401
教育研究経費	3,280	2,795	2,641	3,151	2,694
医療経費	31,124	30,757	32,884	35,855	36,845
その他	13,439	16,394	23,871	19,795	13,794
資金支出計	76,767	79,207	90,157	90,457	85,734
資金収支差額	△ 8,779	△ 6,125	△ 6,585	△ 10,193	△ 6,688

※繰越支払資金・借入金収入及び返済支出は含まず



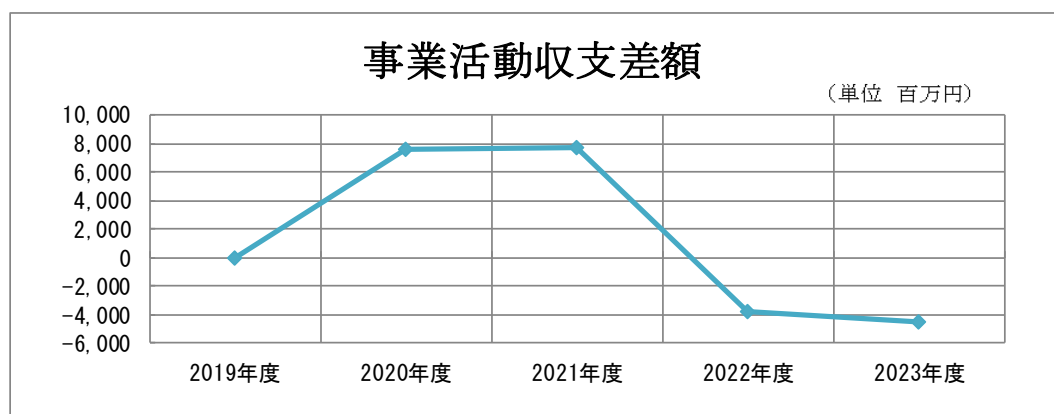
② 事業活動収支差額推移表

(単位 百万円)

勘定科目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
学納金	4,299	4,311	4,311	4,252	4,230
補助金	2,723	13,122	8,833	5,378	3,161
医療収入	58,557	54,286	60,423	60,701	65,564
その他	3,244	3,897	5,382	2,973	3,209
事業活動収入計	68,823	75,616	78,949	73,304	76,164
人件費	29,075	29,564	30,978	31,881	32,382
教育研究経費	3,757	3,262	3,122	3,553	3,095
医療経費	33,183	32,812	35,122	38,787	42,924
その他	2,844	2,397	2,044	2,842	
事業活動支出計	68,859	68,035	71,266	77,063	80,704
事業活動収支差額	△ 36	7,581	7,683	△ 3,759	△ 4,540

※事業活動収支差額

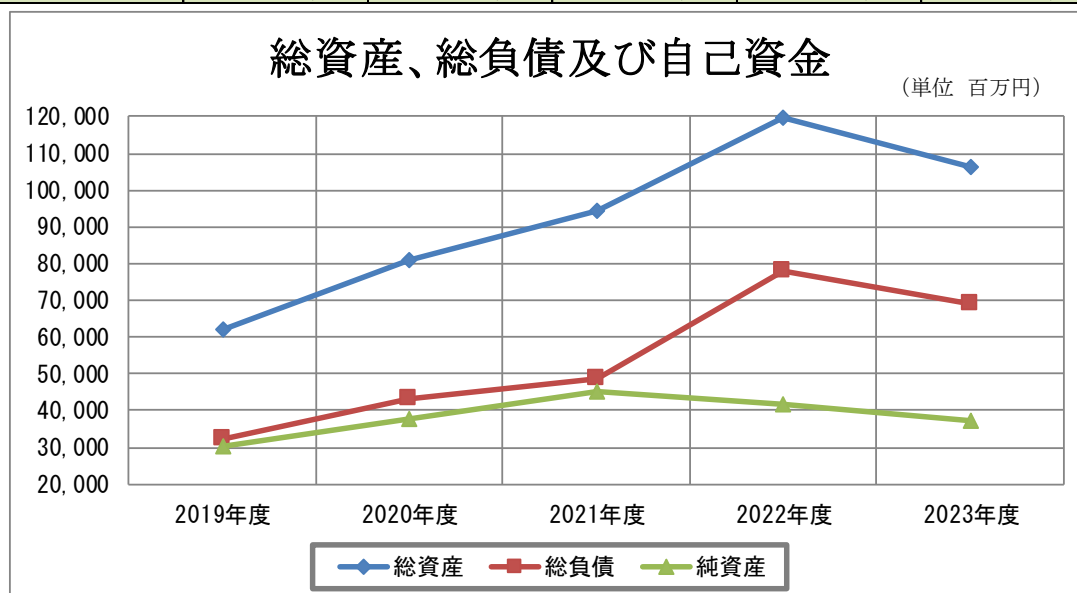
= 事業活動収入 - 事業活動支出



③財政状況表

(単位 百万円)

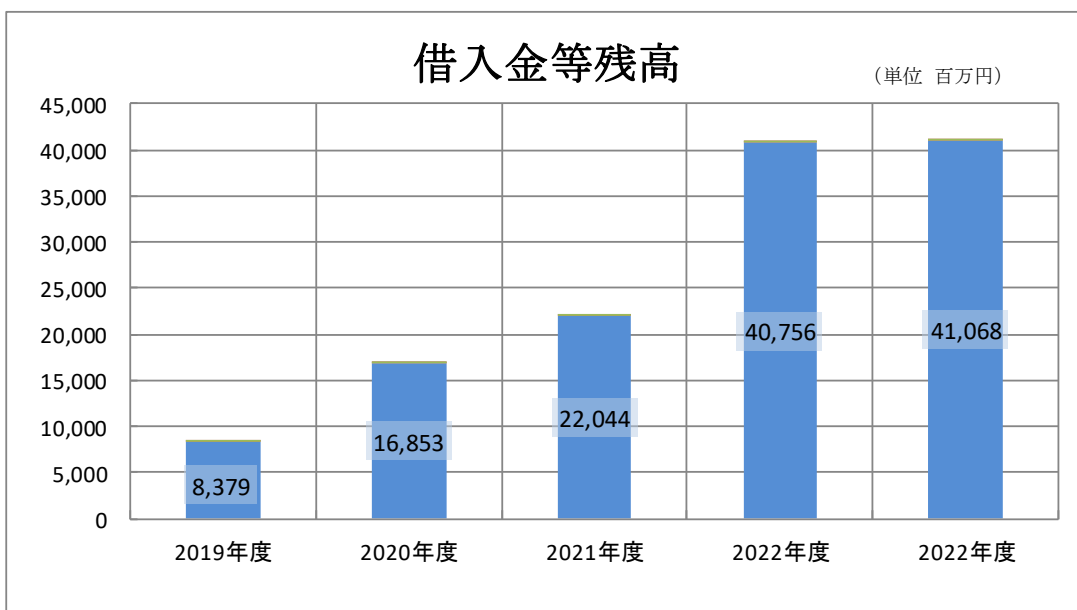
科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
固 定 資 産	42,985	56,016	67,132	86,850	79,965
流 動 資 産	19,288	25,101	27,124	32,721	26,292
総 資 産	62,273	81,117	94,256	119,571	106,257
固 定 負 債	20,397	28,688	34,381	53,347	53,565
流 動 負 債	11,731	14,703	14,466	24,574	15,582
総 負 債	32,128	43,391	48,847	77,921	69,147
純 資 産	30,145	37,726	45,409	41,650	37,110



④借入金等残高推移表

(単位 百万円)

科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度
借 入 金	8,360	16,837	22,031	40,746	41,061
学 校 債	0	0	0	0	0
割 賦	19	16	13	10	7
合 計	8,379	16,853	22,044	40,756	41,068



⑤財務比率一覧

2019年度からの計算書関連比率表

(1)貸借対照表関係比率

No.	比率名	算式	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	指標
1	固定資産構成比率	固定資産／総資産	69.0%	69.1%	71.2%	72.6%	75.3%	↑
2	有形固定資産構成比率	有形固定資産／総資産	63.0%	54.4%	55.4%	59.1%	61.8%	↑
3	特定資産構成比率	特定資産／総資産	1.6%	11.4%	12.8%	10.1%	9.6%	↓
4	流動資産構成比率	流動資産／総資産	31.0%	30.9%	28.8%	27.4%	24.7%	↓
5	固定負債構成比率	固定負債／(総負債＋純資産)	32.8%	35.4%	36.5%	44.6%	50.4%	↓
6	流動負債構成比率	流動負債／(総負債＋純資産)	18.8%	18.1%	15.3%	20.6%	14.7%	↑
7	内部留保資産比率	(運用資産－総負債)／総資産	-36.3%	-28.6%	-29.0%	-40.0%	-44.5%	↓
8	運用資産余裕比率	(運用資産－外部負債)／経常支出	-12.7%	-13.2%	-18.1%	-43.1%	-40.6%	↑
9	純資産構成比率	純資産／(総負債＋純資産)	48.4%	46.5%	48.2%	34.8%	34.9%	↑
10	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額／(総負債＋純資産)	-104.0%	-68.3%	-53.5%	-48.5%	-62.0%	↓
11	固定比率	固定資産／純資産	142.6%	148.5%	147.8%	208.5%	215.5%	↑
12	固定長期適合率	固定資産／(純資産＋固定負債)	85.0%	84.3%	84.1%	91.4%	88.2%	↓
13	流動比率	流動資産／流動負債	164.4%	170.7%	187.5%	133.2%	168.7%	↑
14	総負債比率	総負債／総資産	51.6%	53.5%	51.8%	65.2%	65.1%	↑
15	負債比率	総負債／純資産	106.6%	115.0%	107.6%	187.1%	186.3%	↑
16	前受金保有率	現金預金／前受金	935.7%	1236.9%	1043.7%	1901.0%	1315.5%	↓
17	退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	-	-	-	-	-	-
18	基本金比率	基本金／基本金要組入額	92.9%	87.3%	81.8%	71.1%	73.1%	↓
19	減価償却比率	減価償却累計額／減価償却資産取得価額	70.7%	71.1%	72.2%	50.6%	54.0%	↑
20	積立率	運用資産／要積立額	13.0%	27.5%	28.5%	38.5%	26.8%	↓

・運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

・要積立額＝減価償却累計額(ソフトウェア等含む)＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金

(2)事業活動収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	指標
1	人件費比率	人件費／経常収入	42.60%	39.72%	39.76%	43.72%	42.72%	↑
2	人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	676.42%	685.83%	718.58%	749.75%	765.57%	↓
3	教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	54.12%	48.47%	49.09%	58.07%	60.71%	↑
4	管理経費比率	管理経費／経常収入	3.60%	2.93%	2.49%	3.67%	2.42%	↑
5	借入金等利息比率	借入金等利息／経常収入	0.06%	0.09%	0.10%	0.14%	0.45%	↓
6	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	-0.05%	10.03%	9.73%	-5.13%	-5.96%	↓
7	基本金組入後収支比率	事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額)	102.04%	90.22%	93.47%	111.24%	110.88%	↑
8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／経常収入	6.30%	5.79%	5.53%	5.83%	5.58%	↑
9	寄付金比率	寄付金／事業活動収入	1.17%	0.61%	0.54%	0.61%	0.63%	↑
10	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金／経常収入	0.43%	0.45%	0.34%	0.32%	0.36%	↑
11	補助金比率	補助金／事業活動収入	3.96%	17.35%	11.19%	7.34%	4.15%	↓
12	経常補助金比率	教育活動収支の補助金／経常収入	3.91%	16.21%	10.21%	7.16%	3.96%	↓
13	基本金組入率	基本金組入額／事業活動収入	1.95%	0.27%	3.42%	5.49%	4.44%	↑
14	減価償却額比率	減価償却額／経常支出	3.71%	3.71%	3.69%	3.96%	7.98%	↓
15	経常収支差額比率	経常収支差額／経常収入	-0.41%	8.76%	8.54%	-5.61%	-6.31%	↓
16	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額／教育活動収入計	-0.40%	7.25%	5.53%	-5.51%	-5.91%	↓

(注) ・経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

・経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

(3)活動区分資金収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	指標
1	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額／教育活動資金収入計	0.89%	7.59%	9.77%	3.58%	1.93%	↓

(注) 教育活動資金収支差額＝教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋教育活動調整勘定等

3. 収益事業会計（多摩病院）

(1) 貸借対照表

（資産の部）	本年度末	前年度末	増減	（負債および純資産の部）	本年度末	前年度末	増減
流動資産	2,911	3,433	▲ 522	流動負債	2,784	2,909	▲ 125
現金・預金	904	821	83	未払金他	2,784	2,909	▲ 125
未収入金	1,891	2,504	▲ 613	固定負債	2,248	2,067	181
その他	116	108	8	退職給与引当金	2,248	2,067	181
固定資産	1,181	1,426	▲ 245	負債の部合計	5,032	4,976	56
有形固定資産	2,846	2,833	13	純資産	▲ 940	▲ 117	▲ 823
減価償却累計額	▲ 1,713	▲ 1,454	▲ 259	元入金	111	111	0
その他	48	47	1	繰越利益剰余金	▲ 1,051	▲ 228	▲ 823
			0	純資産の部合計	▲ 940	▲ 117	▲ 823
合 計	4,092	4,859	▲ 767	合 計	4,092	4,859	▲ 767

(2) 損益計算書

		2023決算 ①	2023補正 ②	2022決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収 益	医 療 収 入	9,825	9,586	9,339	239	486
	補 助 金	1,226	1,217	3,323	9	▲ 2,097
	そ の 他	129	126	175	3	▲ 46
	小 計	11,180	10,929	12,837	251	▲ 1,657
費 用	医 療 経 費	4,531	4,422	4,612	109	▲ 81
	人 件 費	5,670	5,539	5,606	131	64
	(医 師)	(1,159)	(1,143)	(1,192)	(16)	(▲ 33)
	負 担 金	740	727	727	13	13
	そ の 他	1,062	1,102	2,120	▲ 40	▲ 1,058
	小 計	12,003	11,790	13,065	213	▲ 1,062
当期純利益		▲ 823	▲ 861	▲ 228	38	▲ 595

川崎市立多摩病院における診療活動は、収益事業として、学校法人会計から経理を区分しています。

医師の人件費が100%計上される収益事業会計は、当期純利益が▲823百万円であったため、学校法人会計への繰入れは行わず、繰越利益剰余金のマイナス計上額が増加しました。その結果、期末純資産は元入金の111百万円と合算した▲940百万円となります。

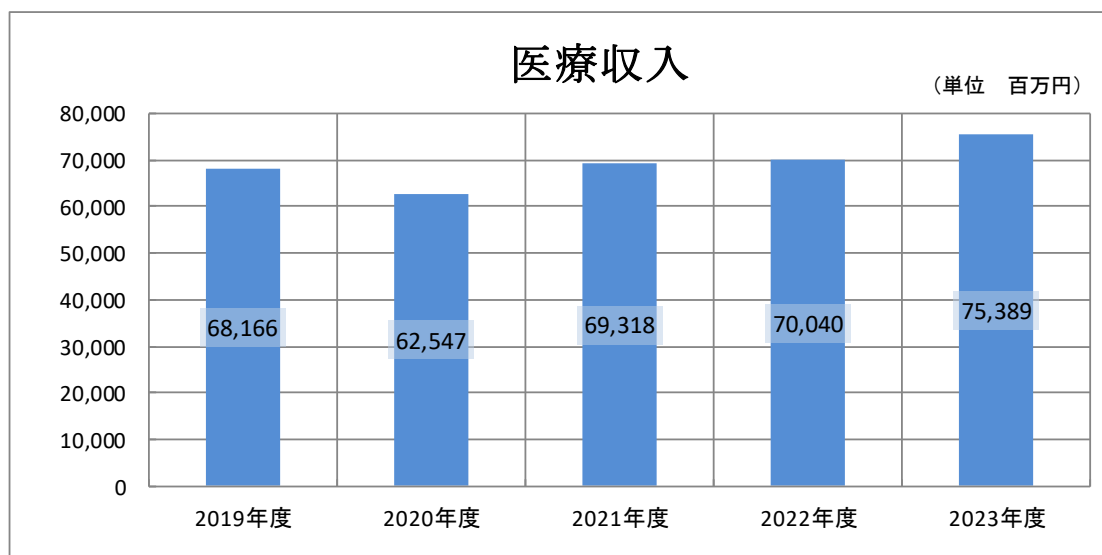
4. 附属病院等の状況

(1) 医療収入推移表

(単位 百万円)

部 門	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大 学 病 院	38,446	37,326	40,265	40,214	44,824
東 横 病 院	3,786	3,585	3,708	3,555	2,706
西 部 病 院	15,191	12,226	15,270	15,812	16,836
B&I先端医療センター 附 属 クリ ニ ッ ク	1,134	1,149	1,180	1,120	1,198
多 摩 病 院	9,609	8,261	8,895	9,339	9,825
※ 合 計	68,166	62,547	69,318	70,040	75,389

※医療収入合計額は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療収入額とは一致しません

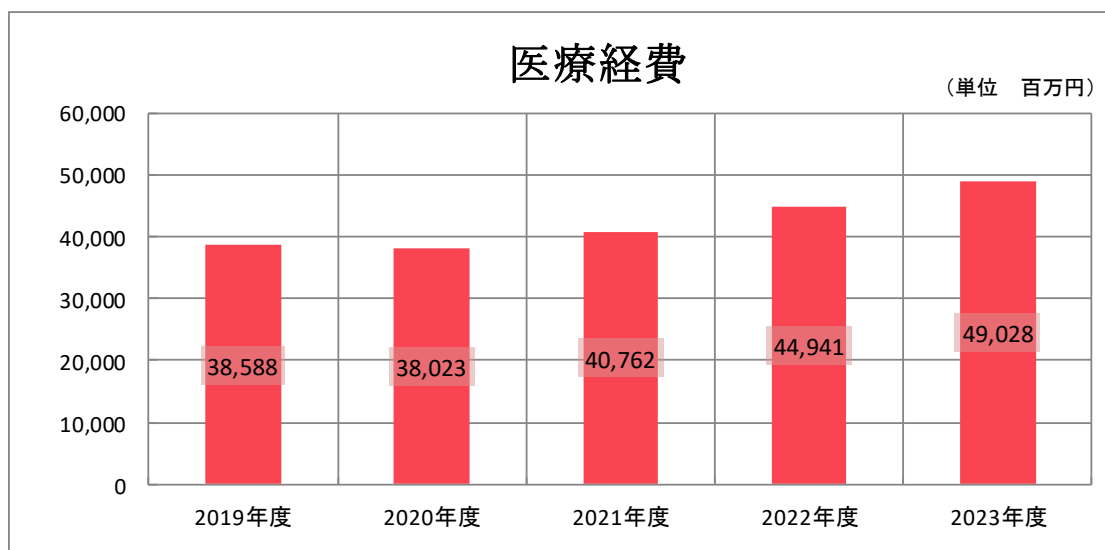


(2) 医療経費推移表

(単位 百万円)

部 門	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大 学 病 院	20,550	20,841	22,053	25,292	27,965
東 横 病 院	2,105	1,927	1,948	1,926	3,286
西 部 病 院	9,631	9,139	10,213	10,671	10,736
B&I先端医療センター 附 属 クリ ニ ッ ク	897	905	908	898	937
多 摩 病 院	5,405	5,211	5,640	6,154	6,104
※ 合 計	38,588	38,023	40,762	44,941	49,028

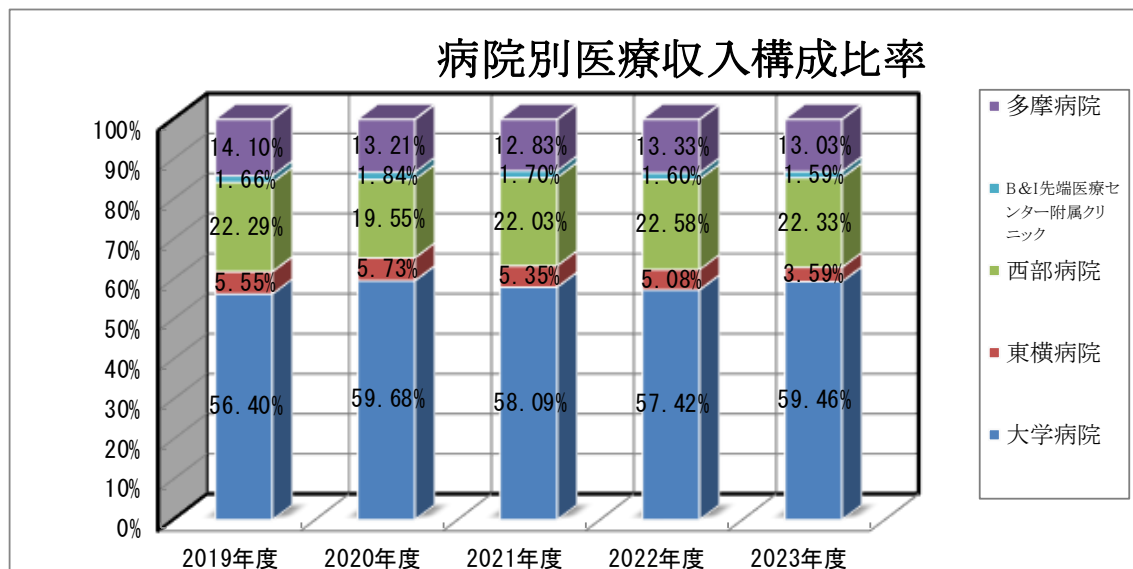
※医療経費合計額は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療経費額とは一致しません



(3) 病院別医療収入構成比率推移表

部 門	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大 学 病 院	56.40%	59.68%	58.09%	57.42%	59.46%
東 横 病 院	5.55%	5.73%	5.35%	5.08%	3.59%
西 部 病 院	22.29%	19.55%	22.03%	22.58%	22.33%
B&I先端医療センター附 属 クリ ニ ッ ク	1.66%	1.84%	1.70%	1.60%	1.59%
多 摩 病 院	14.10%	13.21%	12.83%	13.33%	13.03%
※ 合 計	100%	100%	100%	100%	100%

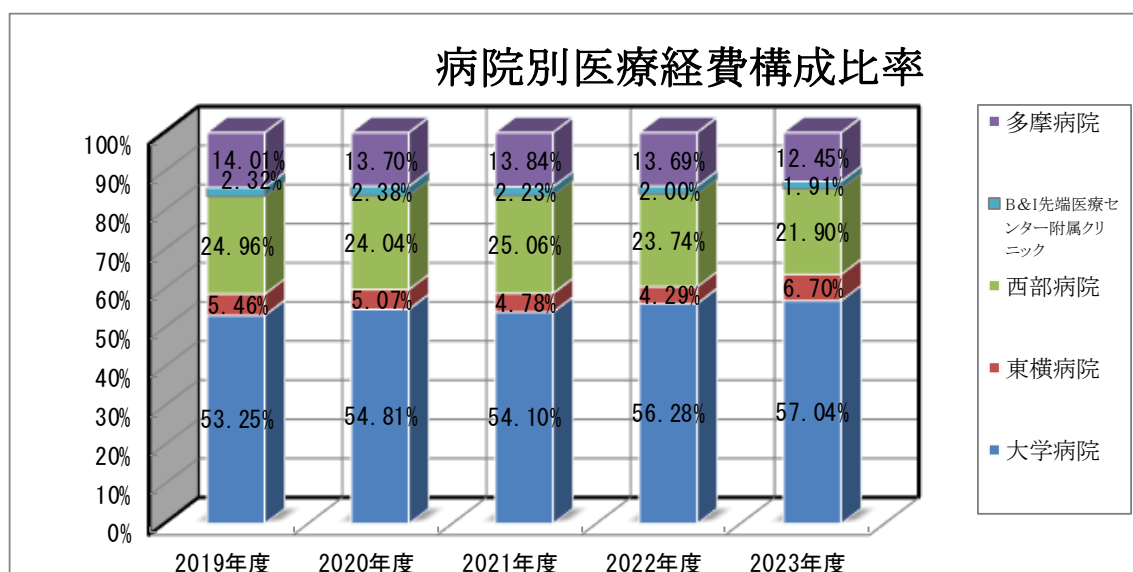
※医療収入構成比率は収益事業会計(多摩病院)を含めているため資金収支計算書及び事業活動収支計算書の医療収入構成比率とは一致しません



(4) 病院別医療経費構成比率推移表

部 門	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大 学 病 院	53.25%	54.81%	54.10%	56.28%	57.04%
東 横 病 院	5.46%	5.07%	4.78%	4.29%	6.70%
西 部 病 院	24.96%	24.04%	25.06%	23.74%	21.90%
B&I先端医療センター附 属 クリ ニ ッ ク	2.32%	2.38%	2.23%	2.00%	1.91%
多 摩 病 院	14.01%	13.70%	13.84%	13.69%	12.45%
※ 合 計	100%	100%	100%	100%	100%

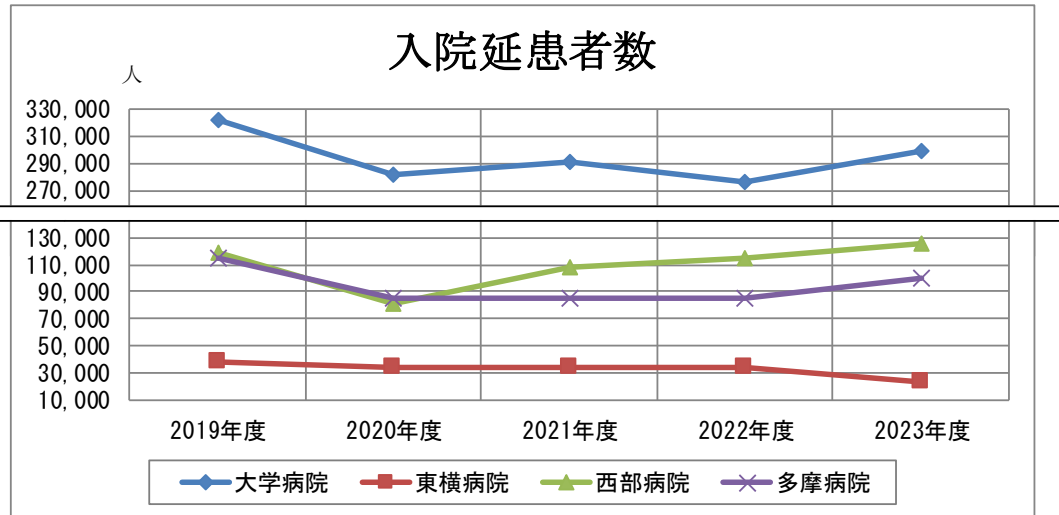
※医療経費構成比率は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療経費構成比率とは一致しません



(5) 病院別入院延患者数

(単位 人)

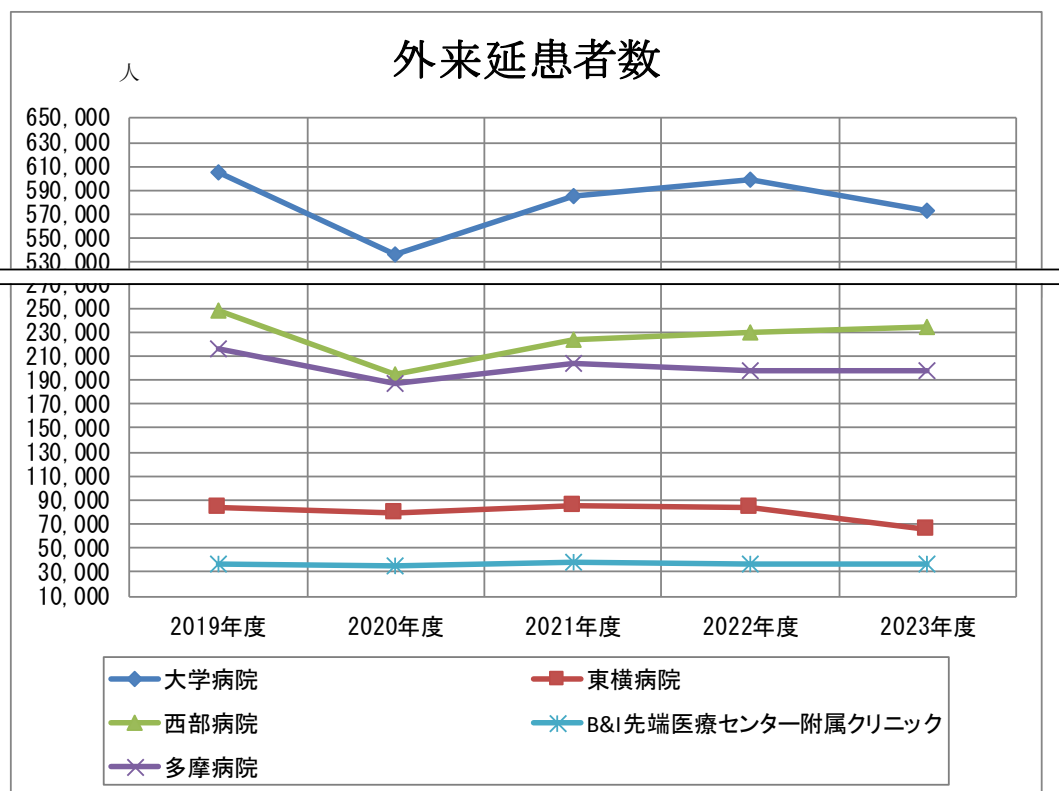
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大 学 病 院	322,651	281,407	291,224	276,215	299,601
東 横 病 院	37,538	34,004	34,406	34,244	23,436
西 部 病 院	118,318	80,568	107,594	114,226	125,840
多 摩 病 院	114,205	85,797	85,463	85,225	100,023
合 計	592,712	481,776	518,687	509,910	548,900



(6) 病院別外来延患者数

(単位 人)

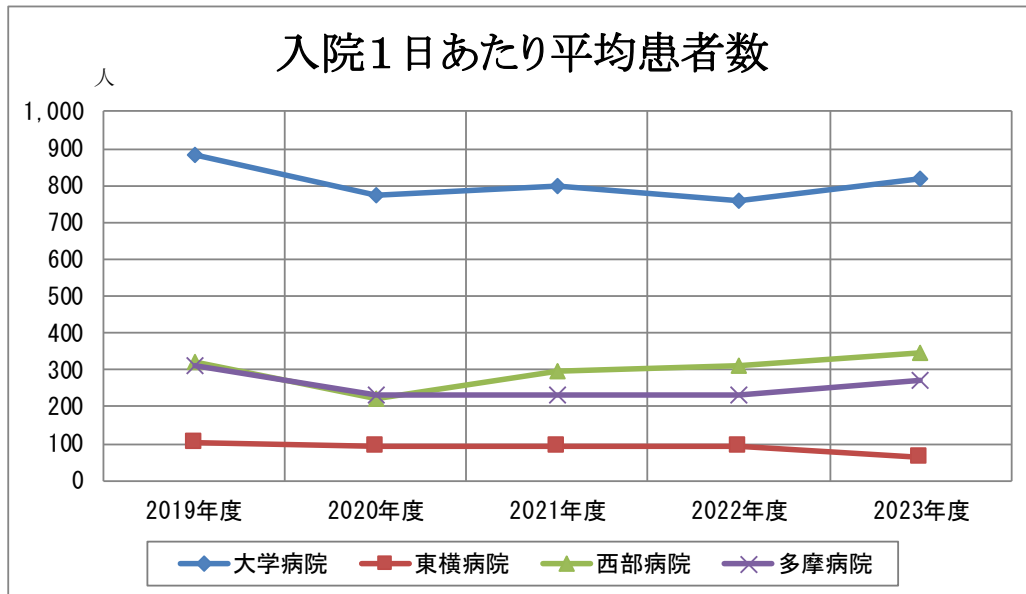
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大 学 病 院	605,092	536,297	585,907	599,455	572,777
東 横 病 院	83,324	78,503	85,556	83,951	65,487
西 部 病 院	247,187	194,533	224,186	229,983	234,614
B&I 先端医療センター附属クリニック	36,206	34,968	37,659	36,512	36,006
多 摩 病 院	215,483	186,755	203,135	197,226	198,131
合 計	1,187,292	1,031,056	1,136,443	1,147,127	1,107,015



(7) 病院別入院1日あたり平均患者数

(単位 人)

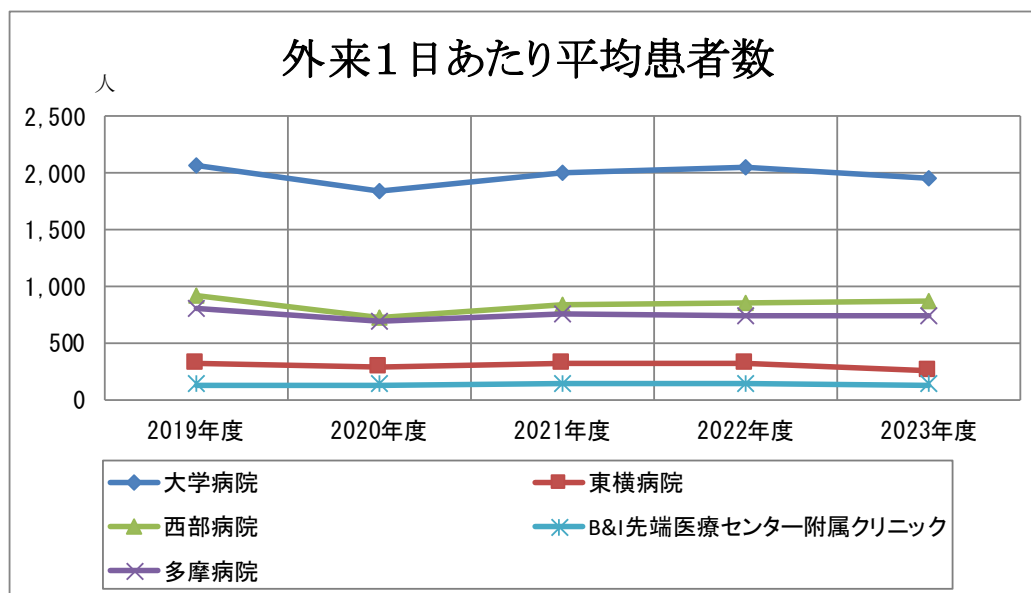
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大 学 病 院	882	771	798	757	819
東 横 病 院	103	93	94	94	64
西 部 病 院	323	221	295	313	344
多 摩 病 院	312	234	234	233	273



(8) 病院別外来1日あたり平均患者数

(単位 人)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大 学 病 院	2,065	1,837	2,007	2,053	1,962
東 横 病 院	310	291	318	313	251
西 部 病 院	922	721	833	858	875
B&I 先端医療センター 附属クリニック	134	134	140	136	134
多 摩 病 院	804	692	755	736	739



所在地

学校法人 聖マリアンナ医科大学

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学病院

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学東横病院（2024年3月31日をもって閉院）

〒 211-0063 川崎市中原区小杉町 3-435

TEL 044-722-2121(代)

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

〒 241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1

TEL 045-366-1111(代)

川崎市立多摩病院（指定管理者病院）

〒 214-8525 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

TEL 044-933-8111(代)

聖マリアンナ医科大学看護専門学校

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学附属研究所 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

〒 215-0004 川崎市麻生区万福寺 6-7-2 3階・4階

TEL 044-969-7720(代)

ホームページ <https://www.marianna-u.ac.jp/>